

国交回復後における 九州山口の対中国貿易

逸 見 顕 善

目 次

は じ め に	1
I. わが国の対中国貿易	4
II. 九州山口の対中国貿易	40
(A) 通関実績	40
(B) 九州山口県産品の中国向け輸出	58
(C) 関門港の利用度	61
(D) 中国市場における日本商品の競合関係	68
付表 1 九州山口の中国向け輸出	74
付表 2 九州山口の中国からの輸入	79

は じ め に

本稿は戦後における九州山口の対中国貿易の推移のうちで日中国交回復後の1972、1973年の2カ年に時期を限定して観察するものであるが、74年上期が異常な伸びを示したためこの期間についても貿易統計を補足している。

九州山口は中国に最も近接した地域ではあるが、ここに所在する30数港のうち対中国貿易がおこなわれたのはそのうちの10数港に限られ、主要輸出入品についても、かなり地域的特性が把握される。このようなことからまず日中貿易の概要を考察したのち九州山口の対中国貿易をみる方が後者の地域性が理解し易いと思われるのでその順序をふむことにしたい。

なお本稿では通産省系の商品分類によりドル建てで日中貿易を、税関統計の商品分類により円建てで九州山口の対中国貿易を観察するので、「商品分類」

について説明しておく。

わが国の貿易統計は「輸出入統計品目表」によって部番号（ 0 ～ 9 ）、類番号（ 00 ～ 09 ）それがさらに 001 、 001 ～ 1 、 001 ～ 100 のように細分類化されているが、この最後の 6 ケタ分類で表示されたものは最も詳細な分類によるものである。

さて上記の「部番号」のうち、第 2 部「食用に適しない原材料」（鉱物性燃料を除いたもの）と第 6 部「原料別製品」は相当多数の品目を含んでいるため品目分類としては利用上、必ずしも利便ではないので、品目を組替えて実用に適するように改編したものを通商白書などでは使用している。組替えられている品目は別表のとおりである。

表 1-1 通産省系貿易統計品目分類

輸 出	輸 入
総 数	総 数
食 料 品	食 料 品
原 燃 料	原 料 品
重化学工業品	繊維原料
機械機器	金属原料
一般機械	木 材
電気機械	鉱物性燃料
輸送機械	石 炭
自動車（部品を除く）	原油・粗油
船 舶	石油製品
金 属 品	加工製品
鉄 鋼	重化学工業品
化 学 品	機械機器
軽工業品	化 学 品
繊 維 品	金 属 品
非金属鉱物製品	軽工業品
	繊維製品

表 1-2 ジェトロ刊行「日中貿易統計月報」総括表の品目組替え

〔輸 出〕		〔輸 入〕	
品 目	品 目 番 号	品 目	品 目 番 号
繊維および同製品	26,65,84	食料品	0,1
合成繊維短繊維	2662	肉 類	01
合成繊維糸	6516	く ら げ	012910
人造繊維糸	6517	魚介類	03
合成繊維織物	6534,6535	え び	031311 ~ 031313
人造繊維織物	6536	米	042
化学製品	5	とうもろこし	044010
化学肥料	512741,514121,56	く り	051730
硫 安	561130	雑 豆	0542
尿 素	561150,512741	繊維および同製品	26,65,84
塩 安	514121	生 糸	2613
人造プラスチック	58	羊 毛	2621,2622,262810
塩ビ樹脂	581201 ~ 581219	綿 花	263
ポリエチレン	581231 ~ 581232	絹 糸	6511
金属および同製品	67 ~ 69	絹織物	6531
鉄 鋼	67	衣 類	84
棒形鋼	673	金属原料	28
厚 板	6741 ~ 6742	鉄鉱石	281
薄 板	6743	非鉄金属鉱	283,285020,286,285010
ブリキ板	6747	原料品(その他)	21~25,27,29,4
亜鉛鉄板	674811 ~ 674832	原 皮	211
帯 鋼	675	大 豆	2214
鋼 管	678	落花生	2211
金属製品	69	木 材	242,243
機械機器	7,861,864,8911	塩	2763
一般機械	71	非金属鉱物	27
工作機械	7151	蛍 石	276550
電気機械	72	人髪(加工したもの)	291910,899941
輸送機械	73	鉱物性燃料	3
自動車	7321 ~ 7327	石 炭	3214
科学光学機器	861	石油製品	332
その他 (輸出総額)~(各項目の合計)		化学製品	5
紙および板紙	641	ロジン	599641
合成ゴム	2312	鉄 鋼	67
ゴム製品	62	銑 鉄	6712
		非鉄金属	68
		す ず	687

I. わが国の対中国貿易

(1) 戦後日中貿易の推移

わが国の対中国貿易は1946年以降64年まで19年間は輸入超過（ただし47年は例外）で経過したが、65年から出超に転じ現在（74年上期）に至っている。

表2-1 わが国の対中国貿易（単位 1000ドル）

年次	輸出入計	対前年比	輸 出	対前年比	輸 入	対前年比
1950	58,961		19,633		39,328	
51	27,434	46.5	5,828	29.7	21,606	54.9
52	15,502	56.5	599	10.3	14,903	69.0
53	34,239	220.9	4,539	757.8	29,700	199.3
54	59,867	174.9	19,097	420.7	40,770	137.3
55	109,325	182.6	28,547	149.5	80,778	198.1
56	150,986	138.1	67,339	235.9	83,647	103.6
57	140,968	93.4	60,485	89.8	80,483	96.2
58	105,027	74.5	50,600	83.7	54,427	67.6
59	22,565	21.5	3,648	7.2	18,917	34.8
60	23,455	103.9	2,726	74.7	20,729	109.6
61	47,534	142.1	16,639	610.4	30,895	149.0
62	84,480	177.7	38,460	231.1	46,020	162.1
63	137,016	162.2	62,417	162.3	74,599	211.5
64	310,489	226.2	152,739	244.7	157,750	142.4
65	469,741	151.3	245,036	160.1	224,705	136.3
66	621,387	132.3	315,150	128.6	306,237	88.0
67	557,733	89.8	288,294	91.5	269,439	83.2
68	549,624	98.5	325,438	122.9	224,185	104.6
69	625,343	113.8	390,803	120.1	234,540	108.2
70	822,690	131.6	568,878	145.6	253,812	108.2
71	901,360	109.6	578,187	101.6	323,172	127.3
72	1,100,035	122.1	608,921	105.3	491,115	152.0
73	2,015,452	183.2	1,041,386	171.0	974,066	198.3
74年(1~6月)	1,382,516	158.6	765,822	162.0	616,594	154.6
73年(1~6月)	871,482	139.6	472,656	116.9	398,826	181.4

る。

輸出は65年から2億ドル、66年から3億ドル、70年から5億ドルと伸び、72年6億ドル、73年には遂に10億ドルに達したのである。

輸入は65年から70年まで2億ドル台で推移し、71年3億ドル、72年4億ドル、73年には倍増して7億7千万ドルに達した。

さらに74年上期には輸出7.6億ドル（前年同

表 2-2 わが国対中貿易の推移(戦後)

(単位:百万円)

年 次	対中国輸出 (A)	総輸出に 対する A	対中国輸入 (B)	総輸入に 対する B	対中国貿易 差 (A - B)
1946	221	9.8 %	273	6.7 %	△ 52
47	761	7.5	182	0.9	579
48	286	0.6	1,275	2.1	△ 989
49	928	0.5	5,586	2.0	△ 4,658
50	7,068	2.4	14,158	4.1	△ 7,090
51	2,098	0.4	7,778	1.1	△ 5,680
52	216	0.0	5,151	0.7	△ 4,935
53	1,634	0.4	10,692	1.2	△ 9,058
54	6,875	1.2	14,677	1.7	△ 7,802
55	10,277	1.4	29,080	3.3	△ 18,803
56	6,242	2.7	30,113	2.6	△ 23,871
57	21,775	2.1	28,974	1.9	△ 7,199
58	18,216	1.8	19,594	1.8	△ 1,378
59	1,313	0.1	6,810	0.5	△ 5,497
60	981	0.0	7,462	0.5	△ 6,481
61	5,990	0.4	11,122	0.5	△ 5,132
62	13,846	0.8	16,567	0.8	△ 2,721
63	22,470	1.1	26,856	1.1	△ 4,386
64	54,986	2.3	56,790	2.0	△ 1,804
65	88,213	2.9	80,894	2.8	7,319
66	113,454	3.2	110,245	3.2	3,209
67	103,786	2.8	96,998	2.3	6,787
68	117,158	2.5	80,707	1.7	36,451
69	140,689	2.4	84,434	1.6	56,255
70	204,796	2.9	91,375	1.3	113,421
71	201,875	2.4	112,683	1.6	89,192
72	187,547	2.1	151,263	2.1	36,284
73	282,895	2.8	263,758	2.5	19,137
1974 (1~6月)	217,715	3.2	175,632	2.0	42,083
1973 (1~6月)	130,181	2.9	108,916	2.4	21,264

期に比べ 62 %

増)、輸入 6.1

億ドル(前年同

期に比べ 54.6%

増)で前年 1 カ

年分の半ばを大

きく上回ってい

る。

以上はドル建

てでみた戦後日

中貿易の時系列

対比であるが、

さらに円建ての

輸出・輸入額を

あげ別にグラフ

でその推移とそ

の間に生起した

日中貿易に関係

ある事象を列記

しておこう。

なお戦後の日

中貿易は民間貿

易(LT貿易、

MT貿易)とい

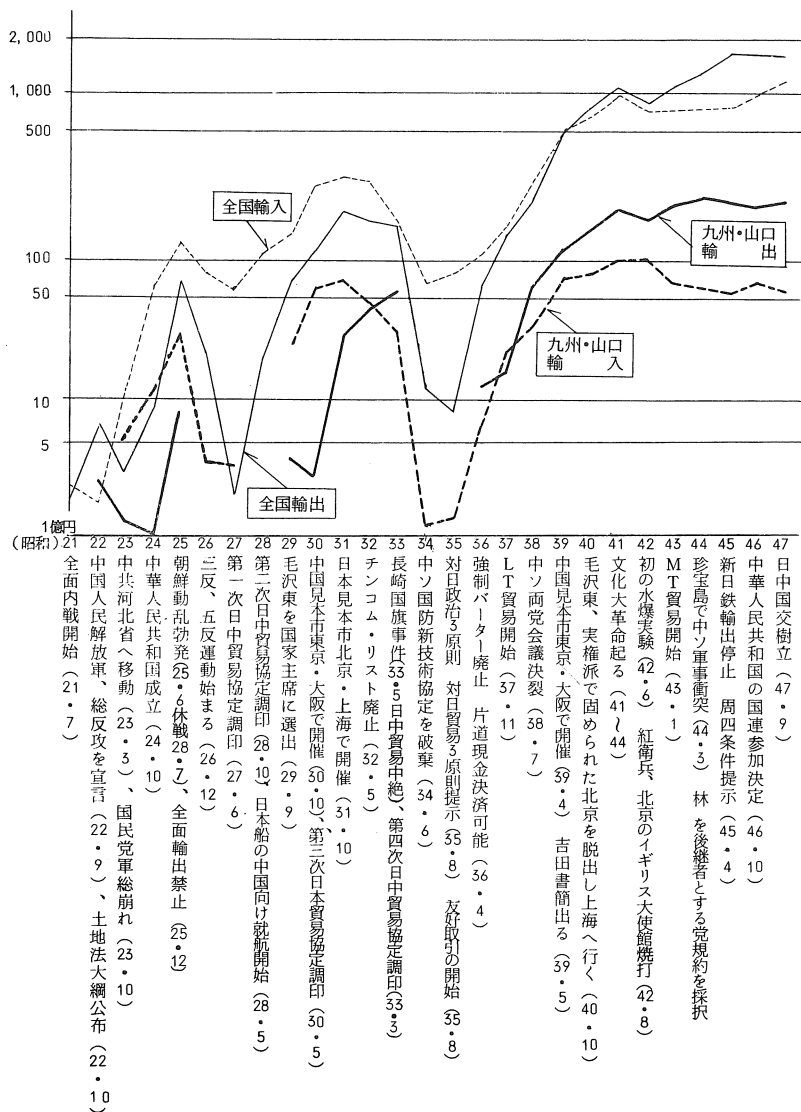
う変則的形態で

26年の長期にわ

たり、時に中断

(資料) 門司税関総務課調べ

図1 日中貿易の推移



を交えながら継続して来た事情や中国国内事情の推移については、拙稿「九州山口の対中国貿易」（福岡市産業貿易振興協議会 昭和 49 年 3 月刊）の中で述べていることを付記する。

(2) 最近の日中貿易

税関公表の対中国貿易統計によってここ 2 カ年の概要をみると 1973 年輸出（2,828 億円）は前年比 50.8 % 増、品目別では「原料別製品」（1,645 億円）が 58.2 % と過半を占め「化学工業生産品」（582 億円）が 20.6 %、「機械類・輸送用機器」（488 億円）が 17.3 % の順で、この 3 類別で 96.1 % に当たる。輸入（2,637 億円）は前年比 74.4 % 増で輸出の伸び率を上回っているが 2 カ年とも出超を示し「食用に適しない原材料」（983 億円）が 37.3 %、「食料品・動物」（508 億円）が 19.3 %、「原料別製品」（482 億円）が 18.3 %、「雑製品」（404 億円）が 15.3 % の順でこれら 5 類別で輸入の 90.2 % に当たる。

輸出の伸びの大きいのは「機械類・輸送用機器」の 2.1 倍増、「原料別製品」の 74.2 % 増、「雑製品」の 62.0 % 増などであり、輸入では「鉱物性燃料・潤滑油」が 4.9 % 増、「原料別製品」の 2.6 倍増、「雑製品」も 2.6 % 増を示した。

表 2—3 わが国の対中国貿易

（単位：百万円）

品 目 類 別	輸 出					輸 入				
	1972年	%	1973年	%	伸び率	1972年	%	1973年	%	伸び率
総 数	187,547	100.0	282,895	100.0	150.8	151,263	100.0	263,758	100.0	174.4
食料品、動物	0	0.0	21	0.0	0	37,558	24.8	50,861	19.3	135.4
飲料、たばこ	—	—	—	—	—	178	0.1	305	0.1	171.5
食用に適しない原材料	6,805	3.6	8,059	2.8	118.4	67,852	44.5	98,376	37.3	146.1
鉱物性燃料、潤滑油	0	0.0	22	0.0	—	2,345	1.6	11,545	4.4	492.3
動物性植物油	—	—	319	—	—	798	0.5	1,014	0.4	127.1
化学工業生産品	61,322	32.7	58,262	20.6	95.0	8,319	5.5	12,408	4.7	149.1
原料別製品	94,417	50.3	164,511	58.2	174.2	18,237	12.1	48,250	18.3	264.6
機械類、輸送用機器	23,206	12.4	48,843	17.3	210.5	176	0.1	179	0.1	102.0
雑 製 品	1,222	0.7	1,980	0.7	162.0	15,020	9.9	40,408	15.3	269.0
特殊取扱品	573	0.3	875	0.3	152.6	1,277	0.8	407	0.2	31.9

以上のように国交回復後の日中貿易の進展は目覚ましいものがあるが、わが国対中貿易は73年輸出（10兆314億円）の前年比13.9%増、輸入（10兆4,044億円）のそれは43.9%増であることに比べ明らかである。

なおわが国外国貿易に占める日中貿易の比重は輸出で72年の2.1%から73年2.8%へ上昇し、輸入も72年2.1%から73年2.5%へと伸びてはいるが、そのシェアは決して大きくはない。

以上の品目分類では粗に過ぎて判然としないので通産省系のそれによって輸出・輸入の品別構成をみることにする。

まず中国向け輸出の主要品をみよう。重化学工業品が72、73年とも約9割を占めそのうち「金属品」が73年52.2%（72年43.3%）に当たり、「化学品」（72年32.7%、73年20.6%）がこれにつき、「機械機器」（72年12.9%、73年17.9%）と続く。このほか「軽工業品」は10%未満（72年9.5%、73年8.3%）で、繊維品が主なものである。

つぎに輸入の主要品は「繊維・同製品」（73年46.0%、72年40.3%）が首位、ついで「食料品」（73年18.4%、72年24.9%）の2類別で大約7割を占め、「その他の原料品」（73年13.6%、72年17.6%）がこれにつぐが、その主要品は大豆（73年7.7%、72年11.7%）などである。

74年上期（1～6月）の輸出主要品は「金属・同製品」（45.0%）について「機械機器」（25.8%）が第2位に、「化学製品」（18.2%）と順位が入れ変っている。輸入では「繊維・同製品」（32.6%）について「鉱物性燃料」（22.2%）が第2位に進出し、「食料品」（18.1%）は第3位に落ちている。

さらに主要輸出品の首位は「金属品」のうちの「鉄鋼」（73年5.0億ドル）で金属品の93.6%（72年2.4億ドルで92.7%、71年2.7億ドルで93.4%）と大半を占め、対前年比は73年価額で2.0倍の著増であるが、数量では56.3%増と低く、72年は価額（9.7%減）に対し数量（16.4%減）の減少率が高い。鉄鋼価格の高騰が問題になるが、たとえば「継目なし鋼管」のトン当たり価格（74年1～6月平均）2万6千ドルは前年同期平均（1万1千ドル）の2.3

表2-4 わが国の中国向け輸出

(単位 1000 ドル)

品 名	数量 単位	1973 年				1972 年		
		数 量	価 額	前年比 (%)	構成比	数 量	価 額	前年比 (%)
総 数			1,039,493	170.7	100.0		608,920	105.8
原 燃 料			7,282	102.8	0.7		7,082	89.4
合成ゴム	MT	12,084	5,012	129.6		15,963	3,869	71.4
絨工 業 品			86,182	148.3	8.3		58,109	221.4
繊維品			65,092	141.8	(0.3)		45,901	210.3
合成繊維短繊維	MT	17,874	16,353	140.3		18,568	11,653	173.8
ビスコース短繊維	"	8,431	5,041	150.1		7,042	3,359	278.1
合成繊維糸	"	5,409	11,744	104.9		6,998	11,195	344.6
人 絹 糸	"	3,739	6,314	168.6		3,895	3,744	146.0
合成繊維織物	千SM	31,189	19,176	131.0		38,600	14,642	184.6
非金属鉱物製品			92	242.1			38	36.8
その他の絨工業品			20,997	172.6	(2.0)		12,168	282.3
紙および板紙			18,939	171.5			11,043	297.0
重化学工業品			942,758	174.0	90.7		541,866	99.6
化学品			213,931	107.4	(20.6)		199,100	122.0
有機化合物			27,078	81.9	(2.6)		33,050	99.7
ベンゼン	MT	57,337	4,879	112.6		65,896	4,333	135.3
アクリロニトリル	"		0	0.0		5,683	1,515	91.0
カプロラクタム	"	5,234	2,666	58.4		11,677	4,566	113.9
無機化合物			3,872	68.3		5,855	5,670	104.1
シアン化物等	MT	2,253	787	44.6			1,766	92.4
精油・香料等			5,591	180.9			3,091	107.5
化学肥料	千MT	2,527	132,725	110.8	(12.8)	3,115	119,760	119.8
硫 安	MT	531,170	19,142	132.9		647,936	14,403	74.2
塩 安	"	596,100	20,526	132.1	(2.0)	673,133	15,541	109.0
尿 素	千MT	1,395	92,671	104.8	(8.9)	1,758	88,453	133.4
人造プラスチック			31,720	119.8	(3.1)		26,487	193.6
殺虫剤		2,067	3,717	103.1		2,995	3,605	118.5
金属品			542,535	205.5	(52.2)		263,947	91.0
鉄 鋼	千MT	2,641	507,878	207.5	(48.9)	1,690	244,727	90.3
鉄 鉄	MT	62,689	3,655	30.3		272,403	12,072	85.5
棒形鋼	"	226,818	51,589	131.5	(5.0)	207,430	39,221	71.4
線 材	"	230,856	32,173	450.2	(3.1)	64,315	7,146	87.6
厚 板	"	647,920	98,642	173.4	(9.5)	462,602	56,888	105.6
薄 板	"	681,059	132,969	348.4	(12.8)	278,479	38,171	111.0
ブリキ板	"	87,140	25,297	214.8	(2.4)	50,027	11,776	160.8
亜鉛鉄板	"	35,840	7,384	636.0		7,822	1,161	85.9

表2-4 わが国の中国向け輸出（続き）

（単位 1000ドル）

品 名	数量 単位	1973 年				1972 年			
		数 量	価 額	前年比 (%)	構成比	数 量	価 額	前年比 (%)	
帯 鋼	MT	299,232	44,840	881.6	(4.3)	32,442	5,086	75.3	
線線	"	13,875	5,376	81.7		21,374	6,583	120.8	
鋼 管	"	354,395	104,454	163.2	(10.0)	288,047	64,009	80.9	
非鉄金属		7,641	24,195	254.1	(2.3)	7,641	24,195	86.9	
銅・同合金	MT	7,087	15,123	523.8		2,148	2,887	146.6	
アルミニウム・同合金	"	452	578	18.4		6,072	3,144	42.9	
金属製品			10,461	107.9			9,698	119.0	
機械機器			186,291	236.4	(17.9)		78,818	86.9	
（機械類）			180,194	239.2	(17.3)		75,345	84.6	
一般機械			87,003	202.7	(8.4)		42,920	58.2	
内燃機関			2,289	273.2			838	139.4	
農業用機械			721	14.6			4,942	431.0	
金属加工機械			9,267	143.1			6,476	27.3	
建設・鉱山機械						367	4,611	57.4	
加熱用または冷却用機器	NO	304	1,610	34.9			1,805	36.8倍	
荷役機械			2,033	554.0			367	10.4	
軸 受	MT	9,057	18,810	163.9		5,985	11,477	46.5	
電気機械			11,653	185.6			6,279	177.9	
輸送機械			81,578	311.7	(7.8)		26,171	222.9	
鉄道車両			6,700	243.7			2,749	174.1	
自動車（部分を除く）	NO	9,784	30,736	174.5	(3.0)	4,184	17,611	244.2	
トラック（完成車）	"	8,564	25,690	200.9	(2.5)	3,786	12,790	282.9	
自動車部品			1,556	160.2			971	93.2	
船 舶			42,565	12倍	(4.1)		3,553	—	
精密機械			6,055	175.7			3,447	211.9	
再輸出・特殊取扱品			3,191	171.4	0.3		1,862	25.9倍	

倍にもなっているのである。

鉄鋼のうち「薄板」（73年1億3千万ドル）が26.2%で首位を占め前年比3.4倍、数量でも2.4倍にふえ、「管および管用継手」（73年1億ドル）が20.8%で第2位、「厚板」「棒形鋼」「帯鋼」「線材」などの順である（表2-8参照）が、中国向け鉄鋼の数量の伸び率にみるように価格のそれに比べて「帯鋼」（4.4千万ドル、価額の前年比8.8倍増に対し、数量では9.2倍増）以外は概して低率である（ただし「亜鉛鉄板」は4.5倍、「線材」は3.5倍、「薄板」は2.4倍増）。

表2-5 わが国の中国からの輸入

(単位 1000ドル)

品 名	数量 単位	1973 年				1972 年			
		数 量	価 額	構成比	前年比 (%)	数 量	価 額	前年比 (%)	
総 数			974,010	100.0	198.3		491,115	152.0	
食 料 品	MT		187,921	19.3	153.1		122,709	136.2	
肉 類	MT	12,919	14,128		160.6	11,262	8,797	124.1	
魚 介 類	"	26,942	71,590	(7.4)	162.6	26,838	44,024	171.1	
かずのこ	"	4,782	34,122	(3.5)	183.6	3,892	18,590	—	
冷凍えび	"	4,475	23,252	(2.4)	150.3	3,519	15,474	83.7	
穀類(飼料用を除く)	"	33,266	8,344		163.4	35,078	5,105	137.1	
果実・野菜		—	64,350	(6.6)	147.7	—	43,580	121.0	
食用ナッツ		18,034	26,854	(2.8)	220.0	14,759	12,208	94.5	
豆 類		41,535	10,796		63.2	51,858	17,071	125.4	
とうもろこし(飼料用)		1,815	239		6.2	64,524	3,882	76.6	
原 料 品			368,621	37.8	166.7	—	221,080	149.3	
繊維原料		24,570	234,670	(24.1)	176.6	22,462	132,193	216.7	
生 糸		5,939	198,107	(20.3)		6,401	114,902	217.2	
金属原料		46,269	3,171		152.1		2,085	88.5	
その他の原料品		—	130,779	(13.4)	151.9	—	86,080	102.1	
落 花 生		15,427	8,160		115.6	—	7,053	169.0	
大 豆		226,364	51,416	(5.3)	135.4	—	37,963	100.5	
塩		925	9,403		99.8	—	9,426	100.2	
ほたる石		158	8,144		148.3	—	5,491	101.8	
桐 油		8,943	3,341		164.9	—	2,026	85.9	
鉱物性燃料		—	42,737	4.4	561.3	251	7,614	82.2	
石 炭		294	7,159		132.7	251	5,395	70.3	
無 煙 炭		294	7,159		132.7	—	5,395	70.3	
原油・石油製品		—	35,577	(3.7)	16倍	—	2,213	139.3	
原油・粗油		1,128	32,565	(3.3)	—	—	—	—	
石油コークス		77	2,946		157.8	61	1,867	117.7	
加工製品		—	373,220	38.3	275.3	—	135,563		
化 学 品		—	45,596	(4.7)	163.8	—	27,011	103.8	
有機化合物		—	3,420		184.7	—	1,803	81.9	
無機化合物		—	3,808		178.3	—	2,136	133.1	
植物性天然香料		647	2,322		169.4	558	1,371	87.2	
ロジン(松脂)		68,594	29,129	(3.0)	166.2	49,151	17,524	96.2	
その他の製品		—	326,511	(37.2)	302.9		107,799	220.6	
繊維製品		—	195,074	(20.0)	300.2		64,989	202.8	
絹 糸		862	16,627		181.8	843	9,144	155.3	
絹織物		133,609	53,853	(5.5)	398.4	69,447	13,516		
絹織物		24,430	47,126	(4.8)	299.0	13,122	15,759	213.8	
衣 類		—	46,993	(4.8)	260.5	—	18,042	137.1	
非金属鉱物製品		—	12,802		214.7		5,963	205.8	
雑 製 品		—	100,877	(10.4)	330.3		30,544	321.7	
家 具		—	4,608		246.3		1,871	193.8	
美術品等		—	74,711	(7.7)	381.9		19,564	958.1	
再輸入・特殊取扱品		—	1,509	0.2	36.4		4,147	897.8	

表 2-6 わが国の

品 名	73年(1~6月) (A)	74年(1~6月) (B)	前年同期比 (B/A)	構成比
総 額	472,656	765,822	62.0	100.0
(1) 繊維・同製品	27,577	55,064	99.7	7.2
合成繊維短繊維	7,017	19,657	180.1	2.6
合成繊維糸	5,142	16,308	217.2	2.1
人造繊維糸	2,876	4,508	56.6	0.6
合成繊維織物	8,660	7,626	-11.9	1.0
人造繊維織物	11	303	303倍	0.0
その他	3,871	6,662	172.1	0.9
(2) 化学製品	109,427	139,631	27.6	18.2
化学肥料	70,912	85,900	21.1	11.2
硫 安	5,278	9,533	81.0	1.2
尿 素	58,007	65,096	12.2	8.5
塩 安	7,553	11,250	48.9	1.5
その他	74	21	-28.3	0.0
人造プラスチック	14,564	27,222	86.9	3.6
塩ビ樹脂	7,230	10,961	51.6	1.4
ポリエチレン	2,872	7,147	148.9	0.9
その他	4,462	9,114	204.3	1.2
その他	23,951	26,509	110.7	3.5
(3) 金属・同製品	251,642	344,828	37.0	45.0
鉄 鋼	242,430	322,007	32.8	42.0
棒形鋼	35,815	59,372	61.3	7.8
厚 板	56,714	54,421	-4.0	7.1
薄 板	73,217	77,502	5.9	10.1
ブリキ板	11,569	18,761	62.2	2.4
亜鉛鉄板	3,702	3,888	5.0	0.5

73年中国向け鉄鋼は同国向け輸出総額の48.9%（72年40.2%）を占めたが、同年わが国の鉄鋼需要は前年下期以降、先進国を中心とする景気の拡大、発展途上国、共産圏諸国の工業投資の増大などに刺戟され、世界的な鉄鋼不足を出現した。比較的輸出余力をもつわが国に需要国から引き合いが殺到した。わが国は経済協力の観点から、これに応じたためかつてない輸出を記録したが、

中国向け輸出

(単位 1000ドル)

品名	73年(1~6月) (A)	74年(1~6月) (B)	前年同期比 (B/A)	構成比
帯鋼	6,005	7,638	27.2	1.0
鋼管	41,989	58,690	39.8	7.7
その他	12,419	41,735	336.1	5.4
非鉄金属	4,512	14,265	216.2	1.9
金属製品	4,700	8,657	84.2	1.1
(4) 機械機器	69,791	197,318	182.7	25.8
一般機器	41,259	83,261	101.8	10.9
農業用機器	707	13,895	19.7倍	1.8
金属加工機器	3,481	10,163	192.0	1.3
鉱山建設機器	925	7,421	702.3	1.0
ポンプ等	7,064	8,282	15.6	1.1
ベアリング・同部分品	10,442	8,159	-21.9	1.1
その他	18,640	35,341	189.6	4.6
電気機器	4,712	15,205	222.7	2.0
輸送機械	21,757	93,482	329.7	12.2
自動車	12,869	36,637	184.7	4.8
船舶	5,306	50,891	859.1	6.6
その他	3,582	5,954	166.2	0.8
科学光学機器	1,602	4,370	272.8	0.6
その他	461	1,060	229.9	0.1
(5) その他	14,221	28,981	103.8	3.8
紙・板紙	7,770	13,653	175.7	1.8
合成ゴム	1,309	3,449	163.5	0.5
その他	5,142	1,879	36.5	0.2

鉄鋼の国際市況は著しく高騰し輸出価格は大幅に上昇した。

さて鉄鋼は九州山口の对中国輸出においてもその比重が高く、後述する関係上これとの対比のこともあるため、わが国の上記鉄鋼輸出を円建てでみておこう。73年中国向け鉄鋼(1,380億円)は中国向け総輸出(2,828億円)の48.7%と過半に近い高率を占めているが、そのうち「鉄鋼の板およびユニバ

表2-7 わが国の

品 目 類 別	73年(1~6月) (c)	74年(1~6月) (D)	前年同期比 (D/C)	構成比
総 数	398,826	616,694	54.6	100.0
(1) 食料品	63,898	111,673	77.5	18.1
肉 類	6,611	6,634	0.3	1.1
鶏	3,761	3,024	- 19.6	0.5
くらげ	-	-	-	-
その他	2,850	3,610		
魚介類	23,175	44,739	93.0	7.3
にしんの卵	4,669	9,157	96.1	1.5
え び	11,220	28,391	153.0	4.6
その他	7,286	7,191		
米	69	8,209	119.0倍	1.3
とうもろこし	-	5,749	-	0.9
く り	823	379	- 53.9	0.1
雑 豆	5,674	3,909	- 31.1	0.6
小 豆	3,649	454	- 87.6	0.1
その他	2,025	3,455		
その他の調製食料品	2,720	6,331	132.8	1.0
くらげ・なまこ	2,207	6,046	173.9	1.0
その他	513	285		
その他の食料品	24,826	35,723	264.7	5.8
(2) 繊維・同製品	195,556	200,928	2.7	32.6
生 糸	97,833	66,641	- 31.9	10.8
獣 毛	6,100	4,566	- 25.1	0.7
綿織物	25,584	13,629	- 46.7	2.2
絹紡糸	5,490	3,832	- 30.2	0.6
絹織物	22,416	17,002	- 24.2	2.8
衣 類	17,599	60,406	243.2	9.8
その他	20,534	34,852	169.7	5.7
(3) 金属原料	1,390	2,282	64.2	0.4
非鉄金属鉱	1,390	2,282	64.2	0.4
(4) 原料品(その他)	55,962	80,905	44.6	13.1
原 皮	2,356	712	- 69.8	0.1
大 豆	22,239	32,191	44.8	5.2
落花生	4,560	3,804	- 16.6	0.6
木 材	949	2,952	211.1	0.5
非金属鉱物	14,348	18,940	32.0	3.1

中国からの輸入

(単位 1000ドル)

品 目 類 別	73年(1~6月) (c)	74年(1~6月) (d)	前年同期比 (D/C)	構成比
塩	6,234	5,113	- 18.0	0.8
蛍石	3,534	4,494	27.2	0.7
人髪(加工したもの)	368	797	116.6	0.1
その他	1,374	11,902	866.2	1.9
(5) 鉱物性燃料	6,361	136,621	21.5倍	22.2
石炭	3,701	4,819	30.2	0.8
石油	1,622	129,531	79.9倍	21.0
石油製品	1,039	2,272	118.7	0.4
(6) 化学製品	18,744	31,186	66.4	5.1
(うちロジン)	(11,812)	(14,121)	(119.5)	(2.3)
(7) 原料別製品	11,490	19,038	65.7	3.1
(繊維を除く)				
革・毛皮	2,371	4,552	92.0	0.7
木・コルク製品	628	1,783	183.9	0.3
(家具を除く)				
紙・板紙	550	3,089	461.6	0.5
その他非金属鉱物	5,344	4,659	- 12.8	0.8
鉄鋼	1	73	73倍	0.0
非鉄金属	2,118	3,354	58.4	0.5
(うち、すず)	(1,698)	(2,482)	(146.2)	(0.2)
その他	478	1,528	319.7	1.1
(8) 雑製品	44,751	33,017	- 26.2	5.4
(衣類を除く)				
室内衛生用品・暖房 照明器具 }	89	60	- 32.6	0.0
家具	1,807	2,096	16.0	0.3
旅行用具・ハンドバック	968	823	- 15.0	0.1
はき物	218	802	267.9	0.1
光学・医療・精密機器	201	148	- 25.4	0.0
その他の雑製品	41,573	29,351	- 29.4	4.8
印刷物文房具	872	985	13.0	0.6
がん具	344	366	6.4	0.1
書画・こつとう	33,113	12,786	- 61.4	2.1
装身具・装飾品	892	1,645	84.4	0.3
(9) その他	675	1,044	55.6	0.2

表 2-8 わが国鉄鋼の中国向け輸出

品 目	1973 年		1972 年		1971 年		単位 { 数量 MT 価額 1000ドル	
	数量	価 額	数量	価 額	数量	価 額	価額の 伸 び (48/47年)	数量の 伸 び (48/47年)
金 属 品		542,535		263,947		290,005	205.5	
うち 鉄 鋼 (100 MT)	2,641	507,878	1,690	244,727	1,929	270,897	207.5	156.3
棒 形 鋼 (特殊鋼を含む)	226,813	51,589	207,430	39,221	321,075	54,984	131.5	109.3
線 材 (特殊鋼を含む)	230,856	32,173	64,315	7,146	74,140	8,155	450.2	358.9
厚 板 (特殊鋼を含む)	647,920	98,642	462,602	56,888	444,125	53,866	173.4	140.1
薄 板 (特殊鋼を含む)	681,059	132,969	278,479	38,171	258,994	34,402	348.4	244.6
冷間圧延薄板 (普通鋼)	553,228	94,056	193,659	23,805	164,682	19,689	395.1	285.7
熱間圧延薄板 (普通鋼)	57,888	8,043	61,406	6,413	79,344	8,181	125.4	94.3
ブリキ板	87,140	25,297	50,027	11,776	31,276	7,323	214.8	174.2
亜鉛鉄板	35,840	7,384	7,822	1,161	24,484	3,233	636.0	458.2
帯 鋼 (鉄鋼のコイル、 特殊鋼を含む)	299,232	44,840	32,442	5,086	55,033	6,757	881.6	922.4
鉄鋼の線 (特殊鋼を含む)	13,875	5,376	21,374	6,583	17,698	5,451	81.7	64.9
管および管用継手 (特殊鋼を含む)	355,567	105,867	289,428	65,535	392,387	79,974	161.5	122.9

(注) 通商白書 49 年度版 111~123 ページ

表2-9 わが国の中国向け鉄鋼輸出
(1973年)

単位 { 数量 とん
価額 1000 円

品 名	数 量	価 額
67 鉄 鋼	7,309,235	138,050,691
671 鉄鉄、スビーゲル、海綿鉄鋼、鉄鋼の粉および ビショット並びにフェロアロイ }	62,989	1,071,948
671-200 銑 鉄	62,689	1,047,022
671-400 フェロマンガソ	300	24,926
672-710 鉄鋼のコイル (高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く) }	230,890	8,752,506
673 鉄鋼の棒および形鋼(鋼矢板を含む)	4,463,928	22,485,529
673-1 鉄鋼の線材(巻いたもの)	230,856	8,867,269
673-2 鉄鋼の棒、中空マイニングドリル鋼	4,188,963	11,775,461
673-4 形鋼(軌条を除く)(80mm以上のもの)および 鋼矢板 }	41,432	2,218,358
673-5 形鋼(80mmに満たないもの)	2,677	124,441
674 鉄鋼の板およびユニバーサルプレート	1,451,959	72,295,194
671-1 鉄鋼の厚板(厚さが4.75mmを超えるもの)(すずをめ きしたものを除く)およびユニバーサルプレート }	450,526	18,579,398
674-2 鉄鋼の中板(厚さが3mm以上で4.75mm以下のも の)(すずをめきしたものを除く) }	197,394	8,528,897
674-3 鉄鋼の薄板(厚さが3mmに満たないもの)(ク ラッドのものおよびめっき、プリントその他の 被覆をしたものを除く) }	678,340	36,002,421
674-7 鉄鋼の板(すずをめきしたもの)	87,140	6,945,152
674-8 鉄鋼の薄板(厚さが3mmに満たないもの)(ク ラッドのものおよびめっき、プリントその他の 被覆をしたもの)(すずをめきしたものを除く) }	38,559	2,239,326
675-0 鉄鋼の帯	422,522	3,385,375
677-0 鉄鋼の線(線材を除く)	321,380	1,459,789
678 鉄鋼の管および管用継手	355,567	28,599,850
678-2 継目なしの鋼管(鑄鉄管を除く)	268,197	22,867,471
678-3 鉄鋼の管(鑄鉄管を除く)(溶接その他の方法 により製造したもの) }	86,198	5,349,633
678-5 鉄鋼製の管用継手	1,172	382,746

ーサル・プレート」(722億円)が52.4%、「鉄鋼の管と管用継手」(285億円)が20.7%、「鉄鋼の棒と形鋼」(224億円)が16.3%で、これら3品目で89.4%と大半を占めている(表2-9参照)。

さてわが国鉄鋼の中国輸出をみるに先立ち、わが国の鉄鋼生産事情をみておこう。

1973年わが国の粗鋼生産(1億1,930万とん)は初めて1億とん台に乗せアメリカ、ソ連について世界第3位となったが、それは技術革新による近代化が推進せられた結果である。すなわち1951～55年の第1次合理化(圧延設備

表2-10 世界の鉄鋼生産主要国と生産量

国名	(単位 1000 とん)					
	銑鉄			粗鋼		
	1971	1972	%	1971	1972	%
世界計	423,200	447,600	100.0	583,000	629,300	100.0
ソ連	89,254	92,400	20.6	120,637	125,500	19.9
アメリカ	74,111	81,104	18.1	109,266	120,876	19.2
日本	72,715	74,055	16.5	88,557	96,900	15.4
西ドイツ	29,990	39,004	8.7	40,313	43,703	6.9
イギリス	15,416	15,317	3.4	24,175	25,321	4.0
フランス	18,323	18,989	4.2	22,843	24,054	3.8
中華人民共和国	19,000	21,000	4.7	21,000	23,000	3.7
イタリア	8,554	9,446	2.1	17,452	19,815	3.1
ベルギー	10,525	11,895	2.6	12,445	14,532	2.3

表2-11 主要国の鉄鋼輸出(1971年)

輸出国	数量	価額	輸出国	単位 { 数量 1000 とん 価額 100万ドル	
				数量	価額
日本	23,618	3,542	アメリカ	2,958	792
西ドイツ	14,162	2,734	イタリア	3,207	655
ベルギー	12,546	1,889	オランダ	3,767	592
フランス	8,659	1,532	カナダ	2,200	394
イギリス	5,101	981	スウェーデン	2,092	387
ソ連	9,976	823	オーストラリア	1,438	340

(注) ベルギーはルクセンブルグを含む。ソ連は1969年

表2-12 わが国鉄鋼の輸出先

単位 { 数量 1000 とん
価額 100万ドル

輸 出 先	1972年		1973年			前 年 比	
	数 量	価 額	数 量	価 額	%	価 額	数 量
総 数	21,374	3,610	24,897	5,303	100.0	146.9	116.5
東南アジア	5,332	827	7,000	1,405	26.5	169.8	131.3
西アジア	1,347	220	1,875	415	7.8	187.9	139.2
西ヨーロッパ	2,611	452	2,397	585	11.0	129.5	91.8
(うち E C)	(1,529)	(275)	(1,285)	(347)	(6.5)	(126.0)	(84.0)
(うち E F T A)	(437)	(77)	(489)	(108)	(2.0)	(139.2)	(111.9)
北アメリカ	6,426	1,145	5,297	1,074	20.3	93.8	82.4
ラテンアメリカ	2,005	339	2,835	612	11.5	180.5	141.4
アフリカ	743	144	968	245	4.6	170.2	130.3
大洋州	588	95	1,040	225	4.3	235.6	176.9
共産圏	2,319	384	3,482	739	13.9	192.4	150.2

(注) 通商白書 49年版 111 ページ

表2-13 わが国鉄鋼の輸出先

単位 { 数量 1000 とん
価額 100万ドル

輸 出 先	1972年		1973年			前 年 比	
	数 量	価 額	数 量	価 額	%	価 額	数 量
総 数	21,374	3,610	24,897	5,303	100.0	146.9	116.5
アメリカ	5,727	1,034	4,730	959	18.1	92.7	82.6
中 国	1,690	244	2,641	507	9.6	207.8	156.3
韓 国	1,041	136	1,789	300	5.7	220.6	171.9
台 湾	915	143	1,220	250	4.7	174.8	133.3
イラン	614	84	856	182	3.4	216.7	139.4
アルゼンチン	665	85	1,063	172	3.2	159.8	159.8
シンガポール	601	93	774	159	3.0	170.9	128.8
オーストラリア	291	55	674	156	2.9	283.6	231.6
ブラジル	257	59	594	151	2.8	255.9	231.1
ソ 連	408	86	575	137	2.6	159.3	140.9
インドネシア	453	85	628	131	2.5	154.1	138.6
インド	575	99	532	126	2.4	127.3	92.5
タ イ	525	78	578	120	2.3	153.8	110.1
フィリッピン	413	57	607	116	2.2	203.5	146.9
カナダ	699	111	566	114	2.1	102.7	80.9
西ドイツ	390	75	422	111	2.1	148.0	108.2

(注) 資料 同上

の近代化)、読いて1956～60年の第2次合理化(近代的銑鋼一貫体制の確立)による技術革新が行われて製品コストが切り下げられたため低廉な鉄鋼を基幹産業に供給しえて、1963年3,150万とんであった粗鋼生産は10年間に実に約4倍に増大したのである。

1971年わが国の鉄鋼輸出は価額(35.4億ドル)、数量(2.3千万とん)とも主要国の首位にあることが指摘されねばならない。

つぎにわが国の鉄鋼輸出先は72年では「北アメリカ」、「東南アジア」の順であったが、73年は「東南アジア」が首位に立ち「北アメリカ」を抜いた。以下「共産圏」、「ラテンアメリカ」、「西ヨーロッパ」の順であるが、国別では「アメリカ」、「中国」、「韓国」、「台湾」の順で、第5位から第16位まではいずれも1億ドル台である(表2-13)。

わが国鉄鋼
業の主要原料

輸入は、1972

年「鉄鉱石」

(1.1億とん、

うちオースト

ラリア、イン

ドが6.6千万

とん)、「鉄

くず」(250

万とん、うち

アメリカが

186万とん)、

「原料炭」

(4.5万とん、

うちアメリカ、

表2-14 わが国銑鉄・鋼の需要

区 分	(単位 1000 とん)			
	銑 鉄		鋼(粗鋼換算)	
	1971	1972	1971	1972
生 産	72,745	74,055	88,557	96,900
輸 入	1,198	1,017	61	121
輸 出	439	390	31,015	28,303
差し引き	73,504	74,682	57,603	68,719

表2-15 わが国鉄鋼主要原料の輸入先

(1972年)

(単位 1000 とん)

鉄 鉱 石		鉄 く ず		原 料 炭	
輸入先	数 量	輸入先	数 量	輸入先	数 量
計	111,440	計	2,499	計	45,582
うち オーストラリア	48,295	うち アメリカ	1,868	うち オーストラリア	18,548
うち インド	17,840	うち ソ連	287	うち アメリカ	16,157
うち ブラジル	9,335	うち オーストラリア	242	うち カナダ	7,439

表2-16 わが国鉄鋼業主要原料の輸入依存度
(単位 千とん)

項 目	1971	1972
鉄鉱石	消費量計 106,010	107,281
	輸入鉱 103,904	105,461
	輸入依存度 98.0%	98.3%
原料炭	消費量計 55,263	53,801
	輸入炭 44,904	43,777
	輸入依存度 81.3%	81.4%
鉄くず	供給量計 37,407	39,855
	輸 入 2,552	2,499
	輸入依存度 6.8%	6.3%

オーストラリアで3.4万とんの輸入数量は括弧内に示すとおりであるが、これらの消費量に対する輸入依存度は「鉄鉱石」(消費1.0億とん)98.3%、「原料炭」(消費量5.3千万とん)81.4%、「鉄くず」(消費量3.9千万とん)6.3%であっ

て国際的な政治不安、経済不安の影響を強く受けることは上記の諸原料の輸入依頼度がこれを示している。

わが国の1972年鉄鉱石の生産は鉱量134.7万とん、金属含有量(鉄分)76.8万とんであるが、同年世界の生産は鉱量で7億5,900万とんで、そのうちではソ連が首位(鉱量2億800万とん、金属含有量1億1千万とん)、アメリカ(鉱量7.6千万とん、金属含有量4.5千万とん)、オーストラリア(鉱量6.2千万とん、含有量4.1千万とん)、カナダ(鉱量3.8千万とん、含有量2.3千万とん)、中華人民共和国(鉱量4.5千万とん、含有量2.2千万とん)の順でこれら5カ国の鉱量(4.2億とん)は世界のその56.6%と過半を占めている。

表2-17 主要国鉄鉱石需給率(1972年)

区 分	日 本	アメリカ	イギリス	西ドイツ	フランス	イタリア
生 産	1	68	19	6	93	4
輸 入	99	34	81	94	39	96
輸 出	—	2	—	0	32	—
差し引き	100	100	100	100	100	100

(注) 砂鉄・硫酸焼鉱を除く(日本はこれを含む)。日本鉄鋼連盟が金属含有量(鉄分)によって推計したもの。

なお主要国について鉄鉱石の需給をみると生産・輸出・輸入の差し引きを100とした場合アメリカ、フランスは輸入よりも生産の比重が大きいが、日本、西ドイ

ツ、イタリア、

表 2-18 わが国の鋼生産量

イギリスは輸

(単位 1000とん)

入に依存する

割合が高い。

世界の銑鉄

生産は1972年

年次	鋼 生産量	製 法 別			品 種 別	
		平炉鋼	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼
1972	96,900	1,905	76,984	18,011	86,142	10,758
1973	119,322	1,849	96,057	21,416	105,935	13,386

(4億4千万とん)の主要生産国(表2-10に示す9カ国)の産出量では世界の80.9%に当たり、粗鋼(6億2千万とん)では78.3%を占める。

◇ 74年度粗鋼生産見通し

日本鉄鋼連盟では74年度粗鋼生産を1億1,500万トン(前年比約4%減)とみている。これは国内需要10%以上減が確実となったため、粗鋼の生産が前年度よりも落ち込むのは1971年以来のことである。

74年度は9月までに累計5,960トンと、好調な輸出を背景にほぼ前年並み(5,988万トン)の水準に達したが、10月には急激な国内需要減で997.7万トンと前年同月の6.4%減となり、11月以降も高炉各社はアメリカの炭坑ストの影響や国内需要減で3~5%の減産を計画しており、このまま推移すれば年度間ではかなりの減産が見込まれるという。しかし輸出は余り減ることはあるまいとみられているが、在庫調整に3カ月を要するので国内需要は当分落ち込みは続くという。

◇ 鋼材輸出の見通し

日本鉄鋼輸出組合の発表によると、74年10月の鋼材輸出は305万6千トン、11億6千万ドルに達し、月間の輸出が300万トンを超えたのは史上最高で、今年度計では4千万トン以上、115億~120億ドルと、73年度(62億9千万ドル)の2倍近い外貨を稼ぐ見込みである。

わが国の鉄鋼業界は世界的な鉄鋼不足の中で今年度の輸出が73年度(3,400

万トン)を大きく上回る見込みで世界の鉄鋼基地の性格を強めつつある。なお量よりも価額の伸びが大きいのは輸出単価が10月実績で平均1トン = 380ドルと73年度平均(約200ドル)の2倍近くになっているため、この結果4～10月の輸出価額(64億7千万ドル)は11月以降になると「年内は10月並みの好調を持続できようが、来年1～3月はかなり落ち込みそう」という見方が多い。なお鉄鋼業界は来年1～3月の船積みを中心に来年の輸出商談を進めているが、15日までにブラジル向け133万トンがほぼ合意に達した。これは73年実績(約60万トン)の2倍を超え、価格は3回に分けて決めるが来年1～4月積み分についてはかなりの高値でまとまったようである。

外貨稼ぎのトップにある鉄鋼の輸出が最近(74年11月)急に落ち込む萌しが見え始め、量的のみならず価格も下降傾向が出て来たという。トン当たり2千円も下がると前9月期程度の利益(大手5社で445億円の黒字)は消える勘定で大手各社とも対策に苦しんでいる。このためアメリカにつぐ大口輸入国である中国へ幹部を送り込んだり、ブラジル・中近東への売込み強化に努めているが、一方では値下げして輸出することは差し控えようという向きもある。

鉄鋼業界はいま来年1～3月積みの鋼材輸出商談を各国と進めているが、例年に比べまだ半分程度という。アメリカ(年間600万トンの最大の輸出市場)でもわが国同様、鋼材需要が落ち込み、在庫調整中でゼネラルモーターズ社、フォード社などは1割の値引きを持ち出したので輸出は破談になったという。

今年の鉄鋼業界は国内販売の赤字を高値輸出でカバーし前9月期決算で大手5社は上記のような445億円をあげたのである。住友金属では国内向け1トン4千円の赤字、輸出は約1万7千円の黒字といわれ大手5社ともこれと似た状態なので、もし輸出価格が2千円も下がれば半期2千トン近い輸出をしているので約400億円の収入減となって、前9月期の利益は消えることになるので、各社とも値下げを避けたいのである。

さらに先進工業国、非産油国とも不況のため鋼材需要は減っているが、中、長期的には供給不足を来すことは国際鉄鋼協会も指摘しているところなので、

景気が上向けば国内需要・輸出ともふえることは確実なので、ダンピング輸出となることはあるまいとみている。

◇ 武漢製鉄所の鋼板プラント輸出契約

最近伝えられているところによると、日中両国で74年10月武漢製鉄所鋼板プラント輸出契約が新日鉄と中国技術進口公司との間で調印された。これは194.5億円で6月に決定した熱延けい素鋼板プラント（年産300万トン）と合わせ総額840億円に達する。これら一連のプラントおよび付帯設備などが来年秋、武漢製鉄所に到着し建設が始まり1977年3月操業開始の予定である。武漢製鉄所には設計打合わせのためすでに日本人技術者10人が派遣されており、建設工事に伴う人事交流も相当大がかりなもので、来年5月数回に分け中国人技術者260人を受入れるほか、最盛時には日本人技術者400人が派遣せられることになるという。

◇ 化学肥料の輸出

わが国化学肥料の生産は窒素肥料（硫安・尿素・硝安・塩安・石灰窒素など）、りん酸肥料（過りん酸石灰・溶成りん肥・焼成りん肥・重過りん酸石灰など）および複合肥料（窒素・りん酸・カリの肥料要素を2つ以上含むもの）で表2-19に示すとおりである。なおカリ肥料は原料（カリ塩）を産出しないので主として塩化カリとして輸入している。

窒素肥料は細胞たん白成分として重要な窒素を含みこれの生産が最も

表2-19 わが国の肥料生産量

(単位 1000トン)		
品 名	1972	1971
窒素肥料	5,839	5,322
硫 安	1,930	2,009
石灰窒素	162	262
尿 素	2,937	2,275
硝 安	23	21
塩 安	787	755
りん酸肥料	1,233	1,133
過りん酸石灰	718	708
重過りん酸石灰	90	71
溶成りん肥	425	404
複合肥料	5,102	4,787
化成肥料	4,408	4,230
配合肥料	694	657

表2-20 世界肥料消費
(1971/72年)

(単位 1000トン)

国 別	計	窒 素	りん酸	カ リ
世 界 計	72,300	33,700	21,100	17,500
日 本	2,123	876	664	583
アメリカ	15,629	7,372	4,339	3,918
ソ 連	10,428	5,182	2,442	2,804
フランス	4,960	1,525	1,932	1,503
西ドイツ	3,300	1,131	935	1,234
イギリス	1,938	930	512	497
イタリア	1,450	625	575	250
オランダ	601	375	101	126
タ イ	95	38	43	15
インドネシア	224	196	23	5
インド	2,629	1,761	565	303
ポーランド	2,888	907	719	1,263

多くアメリカ、ソ連について世界第3位であるが、尿素・硫安は国内向けよりも輸出が多く72年硫安は生産の72%を、尿素は85%を輸出した。
わが農業生産は稲作から野菜果実へ転換される過程

で化学肥料の多量使用のため土壌の酸性・りん酸・カリ・窒素以外の成分の欠乏が生じ透水性・保水性・通気性・養分保持性などの低下が目立つようになった。

その対策として有機肥料の使用があげられるが、生のままでは有害な場合も

表2-21 わが国化学肥料輸出

単位 { 数量 1000トン
価額 1000ドル

品 名	1972年			1973年				
	数 量	価 額	前年比	数 量	価 額	構成比(%)	前年比	同(数量)
総 数	5,108	212,570	136.1	4,334	266,344	100.0	125.3	84.8
窒素肥料	4,774	188,804	133.4	4,129	247,777	93.0	131.2	56.5
硫 安	1,499	32,283	108.5	959	37,173	13.9	115.1	64.0
尿 素	2,517	135,231	145.8	2,454	181,295	68.8	134.1	97.5
塩 安	725	18,439	110.4	675	25,398	9.5	137.7	93.1
りん酸肥料	87	5,172	243.5	36	3,257	1.2	63.0	41.4
過りん酸石灰	43	1,590	315.7	10	540	0.2	34.0	23.2
よう成りん肥	0	64	151.2	0	28	0.0	43.8	27.8
焼成りん肥	29	2,451	174.7	19	2,033	0.8	82.9	65.5
カリ肥料	5	323	79.6	2	214	0.1	66.3	40.0
その他の肥料	241	18,269	150.4	165	15,095	5.7	82.6	68.5

あるので堆肥にする必要があるようである。

アジア・アフリカなどの低開発地域の人口増大は当然食糧増産の必要に迫られ、化学肥料の需要も急増し、需給関係は逼迫しているが、それはわが国を初めヨーロッパ、アメリカの肥料生産は停滞を続けており、石油危機で肥料生産も減少しているからである。

このような情勢の中で 73 年わが国化学肥料の輸出 (433.4 万トン、2 億 6,630 万ドル) は前年より数量で 15.2 % 減、価額で 25.3 % 増であって、「化学品」に占める割合は 12.4 % (前年 11.9 %) へと上昇している。この数量減は国内需要がふえたことで輸出余力の減少があげられるが、原料不足、電力使用制限、公害問題などで供給上の制約があったこともその要因である。

品種別では尿素 (1 億 8 千万ドル) が化学肥料の 68.8 % を占め数量 (245 万トン) でも 56.6 % と半ば超えているが、前年比では価額 (34.1 % 増) に比べ数量 (2.5 % 減) は減少、硫安 (3.7 千万ドル、前年比 15.1 % 増) も数量は 36 % 減、塩安 (2.5 千万ドル、37.7 % 増) も数量で 6.9 % 減である。りん肥料は価額、数量とも減少、カリ肥料も同様である (表 2-21)。

仕向先では中国 (73 年 252 万トン、1 兆 3,272 万ドル、前年比 10.8 % 増) がわが国化学肥料輸出の 49.8 % (72 年 56.3 %) を占めて第 1 位、インド (3.4 千万ドル)、インドネシア (3.0 千万ドル)、フィリッピン (2.2 千万ドル)、タイ (1.2 千万ドル) の順であるが中国が圧倒的な比重を占めている。同国は第 4 次経済計画を進め肥料の自給化をはかっているが、生産規模が小さくまだ達成されていないようである。

◇ 1974 年下期の対中国肥料輸出

1974 年肥料年度下期 (1975 年 1 ~ 6 月) の対中国向け輸出量は業界代表団と中国側とで北京で交渉していたが、硫安換算 125 万トン程度にすることで了解した旨、硫安工業協会から発表された。

74 年上期 (7 ~ 12 月) 輸出量はすでに硫安換算で 90 万トンと交渉済みな

表2-22 わが国化学肥料輸入

品 名	1972年		1973年		
	数 量	価 額	数 量	価 額	前年比(%)
化学肥料	59,173		79,023	133.5	
カリ肥料	117.6	52,581	132.2	63,449	120.7

ので、74年肥料年度の輸出総量は前年度に比べ100万トン少ない215万トンにとどまることになった。

表2-23 わが国の化学肥料輸出

仕向地域	1973年			1972年	
	数 量	価 額	前年比	数 量	価 額
総 数	4,334	266,344	125.3	4,774	188,804
東南アジア	1,570	120,680	151.7	1,599	79,572
西アジア	0	58	25.0	5	232
西ヨーロッパ	0	111	165.7	0	67
北アメリカ	4	368	203.3	2	181
ラテンアメリカ	86	3,791	55.6	251	6,818
アフリカ	7	521	80.5	15	647
大洋州	137	8,087	175.6	110	4,605
共産圏	2,526	132,726	110.2	3,124	122,445

これは肥料の世界的不足と、わが国としては国内需要を優先させねばならない事情によるものである。

なお同協会では、中国向け輸出は前年度の船積みの遅延が大きかったの
で、74年度輸出総量は実質的には20万トン程度の減少に過ぎないとみている。

下期価格については12月ごろ改め

表2-24 わが国の中国向け化学肥料輸出

品 名	1972年			1973年		
	数 量	価 額	前年比	数 量	価 額	前年比
化学肥料	3,115	119,760		2,526	132,725	110.8
硫 安	647	14,403		531	19,142	132.9
尿 素	1,758	88,453		1,394	92,671	104.8
塩 安	673	15,541		596	20,526	132.1

て交渉することになる模様である。

アメリカ農務省経済研究所の「外国農業」は中国の肥料工場建設をつぎのように述べている。中国は1973年末、日本、アメリカ、オランダ、フランスなどから肥料製造プラント約13を輸入し78年までに完成させる計画という。こ

れら工場の年間窒素肥料生産は 220 万トンで、現在生産量と輸入量の約半分に当たる。四川省の石油・天然ガスの巨大な資源宝庫を窒素肥料製造に利用する計画らしく、すでに瀘州や金堂に巨大な 2 工場が建設され、さらにここに数工場の建設が進められるようである。

中国は年間 2 億ドルの肥料を日本、西ヨーロッパ、ペルシャ湾沿岸国から輸入しているが、伝統的な輸入国である日本は国内需要の増大で、これに多くを期待できなくなったことのほかに輸入原材料の高騰が肥料自給体制へ乗りだした主要因とみられている。

中国は外貨獲得の 1 手段として石油生産に力を注ぎ 73 年は 71 年の 2 倍（約 5 千万トン）の生産をあげている。

化学肥料業界は日本硫安工業協会が中国側から、化学肥料の 74 年 11、12 月輸出分を 2 カ月それぞれ繰り延べることを要請せられたことを明らかにした。その理由は不明だが中国の外貨事情が悪化したためではないかと推測している。

化学肥料業界は 10 月から来年 1 月までに尿素 35 万トン輸出することを中国側と契約しているので今次の要請で尿素 15 万トン、硫安 6 万トンの輸出が来年へ繰り込むことになるが、世界的な化学肥料不足のため中国向け輸出の繰り延べ分はインド、インドネシアなどの東南アジア地域への配分を増加することで調整されるとしているが、来年に入り中国向けを一挙にふやすことには限度もあるので、輸出計画が総体的にズレる可能性がでてきたといわれる。肥料以外でもこのようなことができてきているのと、わが国の不況で中国からの輸入を延ばしているもの 2 億ドルにのぼるとみられ双方で計画実施のズレがでているようである。

◇ 鉱物性燃料の輸入

1973 年わが国の鉱物性燃料の輸入（83 億 2 千万ドル、前年比 45.7%増）は総輸入額の 21.7 %を占めているが、その主要品は「原油・粗油」（59 億 9 千

万ドル、前年比 52.8 %増、2 億 8 千万キロリットルで 16.3 %増) が鉱物燃料輸入額の 72.1 % を占め、「石炭」(13 億 5 千万ドル、前年比 25.6 %増、5 万 6 千トンで 15.4 %増) は 16.3 % に当たり「石油製品」(7 億 2 千万ドル、34.7 %増) は 8.7 %、「液化石油ガス」(1 億 8 千万ドル、32.4 %増、508 万 9 千トンで 19.3 %増) が 2.3 %、「液体天然ガス」(5.6 千万ドル、2 倍増) が 0.7 % に当たる。

表 2—25 わが国の中国からの「鉱物性燃料」輸入

中国石油の対

品 名	(単位 千ドル)				
	1972 年		1973 年		
	数量	価 額	数量	価 額	前年比
総 数		7,614		42,737	561.3
石 炭 (千トン)	251	5,395	294	7,159	132.7
原油・粗油 (千KL)	—	—	1,128	32,565	—
石油コークス (千トン)	61	1,867	77	2,946	157.8

日輸出交渉は、
すべて中国で行
われてきたが、
74 年 9 月下旬か
ら 2 週間の予定

(注) 通商白書 49 年版 265 ~ 268 ページ

で訪日する中国

石油貿易代表団と対日輸出の価格交渉が行われることになった。今回の訪日は国貿促の東京および関西本部、日中石油協議会、国際石油会社の四機関の招待で実現したのであるが、関係者は価格商談のほかわが国の石油事情、受入れ体制、精製設備などについて研究を進め相互理解を深める好機とみている。

これに先立ち国際石油会社 (日本国貿促関西本部) では中国は現在、陸地 80 カ所に油田を発見し年間生産の 30 % の伸びを示し、日中間の政治・経済関係の緊密化が進展すれば、3 ~ 4 年後には数千万トンの輸入が期待できるとみている。

中国石油貿易代表団は中国化工進出口総公司 (輸出入会社) の副総経理を団長とする 8 名で、うち 6 名は石油担当の幹部、高級技術者であるという。本年 10 ~ 12 月の対日輸出分 185 万トンの価格商談が行われるが、これで 74 年の対日輸出量は計 450 万トンとなる。

なお現在、中国の石油は大慶油田 (黒龍江省)、勝利油田 (山東省)、大港油田 (天津市周辺) の陸上油田のほか渤海湾の採掘が急ピッチで進められてい

るが、広東省、湖北省などで新油田が発見され、内陸地方を含め上記のように陸上だけで油田 80 カ所で生産が行われている。しかも生産の伸びは前述のように 30 % 増というから中国が中東石油と肩を並べる産油地域となる期待がもたれるが、油送パイプの敷設、港湾設備の改善が今後の課題とみられている。

74 年上半期の中国原油産出量は前年同期に比べ 21.3 % 増、製油所の原油処理量は同期間に 18.2 % 上昇した。なお主要油田の上期原油産出量は大慶油田で 24.7 % 増、大港油田 22.5 %、勝利油田 12.2 % 増を示した(8 月 8 日 新華社通信)。

中国の原油生産量は 1965 年以来年間平均 20 % 以上のペースで増加し、昨年の生産量は 5,000 万トンを超え今年は 7,000 万トン前後に達するという。日中筋によると中国の石油開発は大慶・勝利油田に続き大港油田の開発も順調に進み 76 年には年間 1 億トン、80 年には 4～5 億トンに達する見込である。

原油の増産に伴い輸出余力も増大し、今年はわが国のほかフィリッピン、オーストラリアへも輸出を準備中であるなど、原油を外貨獲得源としようとする中国の政策は明確になりつつあるようである。

◇ 1974 年対中貿易

日本貿易振興会が発表した 74 年(1～9 月)の日中貿易輸出入額は合わせて 21 億 9,270 万ドル(通関ベース)で前年同期比 59.4 % 増を記録した。

わが国から中国向け輸出(12 億 8,740 万ドルで前年同期比 80.4 % 増)は依然好調で、2 大輸出品である鉄鋼(前年同期比 29.5 % 増)、化学肥料(10.9 % 増)が供給力と価格の上で問題もあって伸び悩んだが、農業用機械、鉱山・建設機械、輸送用機器などの機械機器(2.96 倍)、合成繊維・同製品(3.24 倍)などそれぞれ著増している。一方中国からの輸入(9 億 530 万ドルで 36.7 % 増)がわが国の景気引締めと需要抑制の浸透によって特に 6 月以降の伸び悩みが大きく影響して輸出ほど伸びなかったので、中国側の入超は 3 億 8,210 万ドルに達し 70 年の入超(3 億 1,500 万ドル)を上回わり過去の最高に達した。

それはわが国の不況を反映して繊維はこれまで同国からの輸入総額の 44 % 強を占めていたが、わが国の需要急減と在庫急増で 2 億 5,084.2 万ドル (21.8 % 減) となり、うち生糸は 49.4 % 減を示した。また食料品では小豆 (88 % 減)、鶏肉 (23.2 % 減)、粟 (53.9 % 減) など激減し、衣類を除く雑貨品も 22.8 % 減となったが、原油を除く商品の伸びはわずか 2.0 % 増ときわめて低率である。上記の輸入の伸び (36.7 % 増) は原油 (石油製品を含む) の輸入によるもので、今年から輸入品の首位となった原油は 256 万 5,400 キロリットル、 2 億 4,300 万ドル (前年同期比 16.1 倍) で輸入総額の 26.8 % に達した。中国は今年原油 490 万トンの供給を約束しており年間では 5 億ドル、輸入総額の 30 % を占めるものと予想されているので、貿易収支は改善されるであろう。なお繊維品のうち輸入契約を結んだもので買付けを終わっていないものが約 2 億ドルに達しているといわれ、わが国内事情からこのような契約不履行のケースが続発していることは問題と呼ぶのではないか。

◇ 1974 年度わが国貿易見通し

日本貿易会が 11 月 7 日発表した今年度輸出は 580 億ドル (通関ベース、前年度比 46.1 % 増)、輸入 630 億ドル (前年比 40.2 % 増) であるが、これを IMF ベースに直すと輸出 568 億ドル、輸入 535 億ドルとなり差引黒字 33 億となる。これは経済企画庁の黒字 37 億ドル (輸出 587 億ドル、輸入 550 億ドル) より若干低い。

日本貿易会の輸出入委員会に参加している 14 社は従来個別に貿易見通しを発表していたが、今回日本貿易会が業界としてこれを発表したのは初めてである。今後、各社の見通しを持ち寄り調整して現場の取引実感をとり入れた公式見解を公表することにしたものである。

中国向け輸出は本年 8 月までの認証額では台湾を抜いて第 4 位に進出したことが注目される。

1974 年 8 月のわが国の中国向け輸出は認証額で 1 億 9,837 万ドルで全輸

出額（54億2,429万ドル）の3.7%に当たり、前年同月比149%増（総輸出の伸びは70.2%）と急増したため、前年認証額で仕向国別順位は今年8月は4位（前年同月10位）に躍進したことが注目される。なお中国向け輸出は本年5月から台湾向けを上回ったので、74年度中には輸出先として台湾市場を追い越す可能性が生じているとみられている。

◇ 1974年秋の広州交易会

この交易会（10月15日から会期1カ月）にわが国の参加者は約400社、2,100人（広島以西の西日本地区からは59社、80人が参加）であったが、中国はわが国貿易業界が国内不況を理由に引きとりを渋っている中国産品の滞貨を捌くため輸出契約の大幅改定に応じるなど、きわめて弾力的な態度をみせているという。

特に繊維2次製品など昨年秋と今年春の交易会で契約した対日輸出価格の大幅引下げに応じたのが注目されるが、9千万円を3千万円（パジャマ）に値引きしたなどその1例である。また契約数量の削減、来年春までの船積み延期など中国との貿易では異例の措置という。

わが国向けの新規契約も、将来のわが国市況の変動に対応できるよう①交易会では数量だけ契約し値決めは3カ月ごとに行う、②船積み時に値決めするなど新規の取引形態が出現している。

このような措置によって商談は会期末にかけて活発となり、中国当局者によれば日本関係の新規輸出入成約額は、春の交易会（約2億ドル）を約30%上回ったという。

わが国が勝利油田（山東省）の原油1万トンを買付けたことが注目されるが、中国がこれまでの大慶油田（黒龍江省）の原油に加え、勝利原油を本格的に輸出することになったものとしてわが業界は期待をよせている。

◇ 1973 年の中国貿易

外務省の推計による 73 年の中国貿易は輸出入合わせ 87 億 9,500 万ドル（前年比 54.2 % 増）で大幅な伸びは商品の価格上昇によるところが多く輸入は 46 億 7,100 万ドル（cif 価格、前年比 70 % 増）で輸出 41 億 2,400 万ドル（fob 価格、前年比 39.6 % 増）を上回ったが、相手国では日本（輸出入計 20 億 1,400 万ドル、中国貿易の 22.9 %）が前年に続き首位を占めた。

◇ 中国の貿易政策転換の兆し

このほどアメリカの銀行が発表したところによると、中国の貿易収支は 73 年 2 億 2,900 万ドルの入超であったが、74 年はそれが 7 億 3,500 万ドルに達すると予想している。

中国は 1956 年以降入超となったのは 60 年、70 年に天候異変のため農産物を輸入せねばならなかった年だけであった。したがって 73 年以降の赤字転換は中国の通商政策に重大な変化が起き始めていると観察され、これは長期的には世界経済に大きな反作用を起こすことになろうと述べている。中国は工業化を推進するため機械その他の資本設備への需要を高めこれを達するためには当面輸出以上に輸入を伸ばすことを中国指導部が意図的に決定したためとみている。

◇ 中国向け輸銀融資

中国向け輸出に対し日本輸出入銀行の融資が正式決定したのは 1964 年 2 月倉敷レーヨン（現クラレ）のビニロン・プラントへの融資で、その後中国への輸銀資金使用を中止することを約束した いわゆる吉田書簡で大日本紡績（現ユニチカ）のビニロン・プラントが仮契約のまま立ち消えになったのである。

日中国交正常化後は輸銀融資を条件にして、これまでに 15 件が延べ払い輸出で成約している。

このうち中国から支払われる頭金 20～30 %に相当する部分の船積みが終わったものに対して順次輸銀融資をつけること、すなわちその第 1 号として東洋エンジニアリングの 30 万トン（年産）エチレン・プラントに対し今月中に輸銀融資を決定することが、日本輸出入銀行によって発表された（74年9月13日）。

なお上記第 1 号の総額は 148 億 4,900 万円（9 千 566 万元）で頭金 20 %、残り 80 %に対し売り主の東洋エンジニアリングに輸銀約 8、都市銀行約 2 の割合で年利 6 %、期間 5 年の延べ払い融資をする。このため輸銀は今後船積みの進み具合に応じて総額 80 億 6,500 万円を金利 5.5 %で融資することを 9 月中の役員会で決定する。

さらに輸銀では 10 月に三菱油化のエチレン・プラント（年産 11 万 5 千トン）、11 月に同プラントのクラレ担当分、12 月にはこれに付属する高圧ポリエチレン製造設備、東洋エンジニアリングと三井東圧の肥料プラント、日立製作所の石炭火力発電設備（25 万キロワット）の 5 件を含め年内に約 330 億円の融資を決定する予定だが、残った成約済みプラントの中には新日本製鉄が武漢に建設する 640 億円の熱延鋼板・冷

延けい素鋼板という大口のものもあり、中国向け輸出への延払い融資はこれから名実共に本格化するものとみられている。

表 2-26 輸出入物価指数

	年 次	輸 出	輸 入	交易条件
	1970	100.0	100.0	100.0.
	71	100.7	100.0	100.7
	72	97.8	95.7	102.2
	73	106.6	115.8	92.1
	前年比 72	(-)2.9	(-)4.3	1.5
	73	9.0	21.0	(-) 1.0
◇ 輸出入品の価格変動				
最近インフレの進行に伴う輸	1973年1～ 3	99.6	106.2	93.8
	4～ 6	102.7	108.7	94.5
出入品価格の高騰が激しくなっ	7～ 9	107.2	118.6	90.4
	10～12	116.9	129.7	90.1
たため、国交回復後の日中貿易	1974年1～ 3	132.8	170.3	78.4
	4～ 6	139.2	188.9	73.7
の動向をみる場合、年間、期間				
の貿易額を対比（価格激動を無	前期比	4.8	10.9	(-)6.0
視して）してその増減を論じて	前年同期比	35.5	73.8	(-)22.0

表2-27 わが国輸出入品物価指数(1970年100) (日銀統計局調)

品 名	1974年 6月	対前年 同月比	品 名	1974年 6月	対前年 同月比
輸出品(256品目)指数	141.6	36.0	輸入品(166品目)		
総平均指数 (除船舶)(品目255)	140.1	36.0	総平均指数	192.4	71.9
繊維品(49品目)	128.2	15.4	食料品(39品目)	197.1	49.1
金属・同製品(43品目)	174.7	65.4	繊維品(16品目)	162.9	(-)6.3
電気機器(32品目)	113.0	17.7	金属(22品目)	139.0	59.0
輸送用機器(9品目)	138.2	25.4	機械器具(28品目)	102.9	11.7
一般精密機器(43品目)	117.7	21.7	鉱物燃料(9品目)	359.4	219.8
化学製品(18品目)	181.4	90.7	木材・同製品(10品目)	158.8	18.4
雑製品(62品目)	149.4	38.6	雑製品(42品目)	139.5	33.6
(以下主要品)			(以下主要品)		
鉄 鋼	171.5	64.9	食料品		
粗・半製品	225.5	117.2	畜産物	168.7	6.2
普通鋼々材	179.4	69.9	肉 類	170.2	(-)1.8
特殊鋼々材	118.9	31.1	畜産加工品	165.2	32.6
その他	191.2	59.7	水産物	144.5	4.3
非鉄金属	180.9	62.2	魚介類	146.8	4.6
銅製品	155.4	58.6	海草類	79.1	(-)9.1
その他	241.4	68.0	農産物		
線製品	230.2	99.7	小 麦	234.2	61.3
肥 料	146.8	72.1	果 実	110.1	38.5
窒素質肥料	149.4	80.7	豆 類	171.5	9.4
尿 素	152.1	80.2	粗 糖	415.4	199.7
塩 安	144.9	96.6	飲料原料	141.0	28.3
硫 安	144.1	74.0	採油用種子	168.5	47.8
複合肥料	115.8	—	その他	164.7	48.2
合成樹脂	284.0	131.1	金 属		
ポリエステル樹脂	250.5	144.9	非鉄金属地金	140.2	58.1
塩化ビニール	338.5	124.3	鉄鋼粗製品	238.0	180.0
ポリエチレン	265.1	143.2	鉱物性燃料		
ポリビニールアルコール	212.1	147.2	石 炭	166.8	71.6
ポリスタレン	331.6	149.5	燃料用炭	155.3	67.2
ポリプロピレン	297.1	97.8	原料用炭	167.1	71.7
自動車	123.3	21.4	石 油	427.1	262.6
船 舶	162.3	33.1	原 油	475.8	291.9
農業機械	130.3	40.0	石油製品	260.4	147.3
原動機	126.2	24.7			
金属加工機械	155.6	40.6			

も不十分であろう。価額と共に数量が表示してあるものは一応は数量比較によってその品目の増減をみるのは一方法である。しかし数量単位の異なる全品目を一括対比するには物価指数で変動分を除去して時系列比較をするほかはない。そこでここ数年の輸出入品物価指数の年間比較と、73年以降の四半期別のものをあげておく。

日銀統計局調べのわが国輸出入品物価指数(1970年=100)によれば73年輸出106.6に対し74年4～6月139.2、輸入73年115.8に対し74年4～6月は188.9で、前年4～6月に対する伸びは輸出で35.5%、輸入は73.8%と後者は極めて大幅な上昇率を示している。これを四半期ごとの推移でみると輸出は73年第Ⅰ・四半期は100を割っており第Ⅱ・四半期から徐々に上昇し、74年に入り急上昇し第Ⅱ・四半期は139.2に達し輸入はこれに対し上昇率が大きく73年第Ⅳ・四半期(129.7)から74年に入るや170.3、第Ⅱ・四半期188.9と急ピッチで伸びたのである。

さて74年6月現在の輸出入品物価指数で主要品のそれをみると輸出の「鉄鋼」(171.5で対前年同月比64.7%増)、「化学製品」(181.4、90.7%増)うち「肥料」(146.8、72.1%増)、「合成樹脂」(284.0で131.1%増)などが上昇率の大きい商品である。

輸入品では「鉱物性燃料」359.4で前年同月比219.8、うち「原油」475.8で291.9%増、「石油製品」260.4で147.3%増、「鉄鋼粗製品」238.0で180.0%増、「粗糖」415.4で199.7%増、「食料品」197.1で49.1%増、「繊維品」162.9で(一)6.3%と減少している。このほか「肉類」170.2で(一)1.8減、「海草類」79.1で(一)9.1%減で、このように減少しているものもみられる。

74年1～6月輸出価額と73年同期のそれをそれぞれ総平均指数で調整して両期間の伸びを比較すると120.6%となり、輸入のそれは108.0%となって、かなり上昇率は縮減される。

◇ わが輸出品の国際競争力

価格低廉、品質優良で国際市場に進出して来たわが国輸出も物価上昇を反映して国際競争力にかけりが生じているといわれ、先行きが懸念されている。この問題をとりあげた業界の2つの見通しはつぎのように予測している。

住友銀界は最近の卸売物価の上昇を日本、アメリカ、西独で対比し、日本はこの2国に比べ(1)原油価格の上昇は鉄鋼、紙パルプなどの素材の範囲からさらに機械などの加工品にまで波及していること、(2)卸売物価の上昇は直接、輸出価格上昇に反映していることを特色とする。

さて日本の4月の石油製品は前年同月比164.0%高、素材産業同47.5%高、機械同25.5%高と上昇している。

アメリカ(3月)は145.7%高、7.0%高、5.7%高、また西ドイツ(2月)は66.4%高、12.0%高、6.6%高である。

このため輸出価格へこの上昇が反映して3月日本の輸出物価指数は前年同月

表2-28 卸売物価の上昇率
(前年同月比、%)

年 月	日本	アメリカ	西独
1973.10	20.3	16.3	7.2
11	23.3	17.5	8.1
12	29.0	18.2	8.5
1974. 1	34.0	20.8	10.3
2	37.0	20.3	11.7
3	35.4	19.1	12.8
4	35.7	18.8	13.2

表2-29 卸売物価上昇の要因

区 分	1969年	1970	1971	1972	1973
日本					
総平均	3.5	2.0	(-)1.3	3.9	23.4
需給要因	0.3	(-)3.3	1.8	4.5	3.2
賃金コスト	0.8	3.5	(-)2.4	1.0	3.2
輸入コスト	2.3	1.6	(-)0.7	(-)4.0	14.2
アメリカ					
総平均	4.5	2.8	3.4	5.6	17.3
需給要因	0.1	0.4	0.1	0.3	1.3
賃金コスト	1.7	1.8	1.4	1.4	2.9
輸入コスト	1.5	1.4	1.2	2.1	7.2
農産物	1.2	-	0.7	1.8	7.6
西独					
総平均	4.4	5.1	3.7	4.1	8.0
需給要因	0.8	0.2	0.2	0.2	0.7
賃金コスト	3.5	4.8	4.0	2.7	3.7
輸入コスト	0.1	0.1	(-)0.4	1.2	3.7

(注) 各年とも10～12月期

比 34.1 %高に比べ、アメリカ（1 月）26.6 %高、西ドイツ（2 月）14.4 %高とその上昇率は低い。このように価格面からみる限り日本商品の輸出競争力は低下したとみななければならないが、国際的な基礎資材の不足や円の実質的切下げに支えられ輸出は順調に伸びていたといえよう。

つぎに 73 年卸売物価上昇を要因別にみると、アメリカは農産物、輸入コストの対前年比はほぼ同一水準であり、また西独も賃金コスト、輸入コストの影響がほぼ同じあるのに対し日本は輸入コストの前年比は 14.2 %高（アメリカ 7.2 %高、西独 3.7 %高）と強く反映しているほか今後、賃金引き上げが影響してくるようなことがあれば国際競争力は悪化する恐れがあるが、アメリカ、西独とは卸売物価上昇の要因が異なることが注目される。

三菱総合研究所のわが国の国際競争力に関する試算によると 1976 年ごろから

わが国の輸出に赤信号が出る危険性があると述べているが、上記の住友銀行のおこなった「コスト上昇と国際競争力の見通し」によると、将来展望で赤信号とはいかなくとも黄信号発生の可能性があるというものである。

三菱総研では①原料コスト、②賃金コスト生産性の動向の 2 面から国際競争力を測定しているが、原料コスト上昇が生産コスト上昇に及ぼす影響では表 2—31

表 2—30 国際競争力の総合評価
(生産コスト上昇率、70年=100)

品 名		1973	1976
素材産業			
△鉄 鋼	日	106	159
	米	109	149
×化学品	西独	107	142
	日	143	216
	米	137	201
	西独	133	176
機械工業			
×一般機械	日	116	165
	米	107	138
	西独	117	138
△電気機械	日	138	179
	米	128	156
	西独	135	157
△自動車	日	110	145
	米	112	141
	西独	112	133
*輸送機械 (造船、車両)	日	113	150
	米	115	134
	西独	114	131
消費財			
×織 維	日	157	224
	米	161	211
	西独	150	193

(注) △、×、*は日本の競争力評価で△は横ばい、×は低下、*はやや低下を示す。

表 2-31 産業別原料コストの生産コストへのインパクト

品 名	日 本			ア メ リ カ			西 独		
	1974	75	76	1974	75	76	1974	75	76
食 品	○25.8	○ 3.9	○ 3.4	25.1	3.8	3.3	19.9	8.0	2.6
織 維	11.3	3.8	3.3	○14.1	○ 4.7	4.1	10.9	3.6	3.1
紙・パルプ	○17.8	○ 8.0	○ 9.1	16.2	7.3	8.2	14.7	6.6	7.5
鉄 鋼	○20.2	○ 4.3	○ 4.1	18.7	4.0	3.8	19.0	4.1	3.8
非鉄金属	21.9	7.7	7.4	20.9	7.4	7.1	○22.5	○ 7.9	○ 7.6
一般機械	○ 7.9	○ 5.6	○ 2.6	6.3	4.5	2.1	7.0	5.0	2.3
電気機械	○ 5.2	○ 4.0	○ 4.2	4.1	3.2	3.3	4.0	3.1	3.2
輸送機械	○ 6.1	○ 3.9	○ 2.6	5.4	3.5	2.3	5.6	3.6	2.4
自 動 車	○11.0	○ 3.8	○ 3.7	9.9	3.5	3.3	8.0	2.8	2.7
化 学 品	20.3	2.7	3.2	○23.2	○ 3.1	○ 3.6	16.6	2.2	2.6
石油製品	111.4	1.9	1.8	103.1	1.8	1.7	○114.5	○ 1.9	○ 1.9
窯業製品	○11.6	○ 4.9	○ 5.9	11.0	4.7	5.6	10.8	4.6	5.5
平 均	15.0	4.4	4.0	14.5	4.1	3.7	13.4	3.6	3.3

(注) ○は3国のうちもっとも上昇率の高いもの

の12業種のうち繊維、非鉄金属、化学品、石油製品の4業種以外の8業種で、わが国はアメリカ、西独を上回っている。また賃金コストの上昇率が74年30%、75年25%、76年20%と大幅な上昇となる見通しだが、アメリカ、西独ではせいぜい10%の賃金上昇が見込まれ、そのためこの2国とは年率5～7%の賃金コスト上昇率の格差が生ずることになる。

このように原材料コスト、賃金コストともわが国の上昇率をもっとも高いが、さらにこうした個別のコスト上昇率を加重平均していわゆる「総合評価」を主要7業種について算出したものによると、わが国の国際競争力が強化される業種は皆無である。のみならず逆に化学品、一般機械、繊維では大幅に低下することが予想されている。

アメリカ、西独に対し競争力を維持できるものは鉄鋼、電気機械、自動車の3業種で、造船、車両などの輸送用機器も競争力が低下するものとみられる。

わが国の輸出は短期的には世界的なモノ不足、為替レートの円安基調であるため1～2年は好調を持続できるが、人件費比率の高い一般機械、繊維、化学品はかなり早く輸出が難航する見通しである。

II. 九州山口の対中国貿易

(A) 通 関 実 績

前記のように九州山口の貿易統計は門司税関と長崎税関で保管している管内各港の通関実績を記録した原表を基礎資料として所要の、たとえば本稿の対中国貿易関係分を抽出して取りまとめねばならない。同資料は千円単位で表示されているので、以下にあげる統計資料は円建てであって、前項で述べた全国の対中国貿易（ドル建て換算のもの）と価額単位が異なるものであることを断っておかねばならない。

ここでは税関統計のほか(1)県産品輸出実績統計（通産局所管）、(2)西日本貿易商品流動量統計をも利用して九州山口の対中国貿易を他の側面から観察することにしたい。

戦後、九州山口の対中国貿易は1960年代初めまでは輸出入のバランスは不安定のまま推移したが、63年以降（62年LT貿易開始）は出超に転じ64年から輸出は100億円台に乗せ66年から200億円台で推移し、国交回復（72年）後73年には一躍400億円台に乗り、74年上期280億円に達した。一方輸入66～67年100億円台となったが、その後は60～70億円台で推移した結果68年から貿易尻は150～180億円の出超となり、74年には遂に360億円に達し出超幅の縮小が問題となっている（74年上期の出超は177億円）。

73年九州山口の総輸出（6,447億円）は全国のその6.4％（72年は5.5％）、輸入（9,170億円）は8.8％（72年8.5％）であるのに対し対中国貿易では九州山口は輸出で全国の6.8％（72年4.9％）、輸入では0.9％（72年1.3％）に当たり、輸入での比重はきわめて小さい。

さて上記のように九州山口の通関業務は門司税関（九州の北東岸と山口県所在の22港、2空港を管轄）と長崎税関（九州西南岸の11港、1空港）に2分されているが、73年対中国貿易に関係のあったのは輸出で九州8港1空港、山口県5港、輸入で九州6港1空港、山口県5港であって、九州山口全港の約

表3-1 九州山口の対中国貿易の推移 (単位 100万円)

年次	対中国 輸出 (A)	総輸出に 占めるA の割合	対中国 輸入 (B)	総輸入に 占めるB の割合	対中国 貿易 貿易 (A-B)	わが国中国貿易に 対するシェア	
						輸 出	輸 入
昭 21	72	22.3%	23	13.9%	49	32.8%	8.4%
22	236	18.1	42	3.1	194	31.2	23.3
23	126	3.4	515	9.7	(-)389	44.1	40.4
24	102	1.7	1,232	4.2	(-)1,130	11.0	22.1
25	858	7.5	3,090	8.9	(-)2,232	12.2	21.8
26	4	0.0	375	0.5	(-)371	0.2	4.8
27	—	—	360	0.4	(-)360	—	6.7
28	—	—	1,125	—	(-)1,125	—	6.8
29	408	1.1	2,335	3.2	(-)1,927	5.9	15.9
30	317	0.7	5,098	5.8	(-)4,781	3.1	18.2
31	2,713	4.7	6,049	5.4	(-)3,336	11.2	20.1
32	4,135	6.0	4,736	2.7	(-)601	19.0	16.3
33	5,640	7.3	3,008	2.6	2,632	31.0	15.4
34	—	—	129	0.1	(-)129	—	1.9
35	1	0.0	158	0.1	(-)157	0.1	2.1
36	1,336	1.3	710	0.3	626	22.3	6.4
37	1,867	1.8	2,255	1.1	(-)388	13.5	13.6
38	5,678	4.4	3,768	1.6	1,910	25.3	14.0
39	10,529	6.3	8,245	2.8	2,284	19.2	14.5
40	15,470	7.0	9,028	2.9	6,442	17.4	11.1
41	23,424	10.1	10,992	3.2	12,432	20.6	10.0
42	19,481	7.5	11,488	2.6	8,162	18.8	11.8
43	23,661	8.3	7,541	1.7	16,120	20.2	9.3
44	26,133	7.5	6,837	1.4	18,588	18.6	8.1
45	24,806	6.0	6,436	1.1	18,370	12.1	7.0
46	22,444	4.6	7,304	1.1	15,140	11.1	6.5
47	23,675	4.9	6,135	1.0	17,540	12.1	3.8
48	43,797	6.8	7,817	0.9	35,980	15.5	3.0
49(1~6月)	28,189	5.7	10,479	1.2	17,710	12.9	6.0
48(1~6月)	20,868	9.8	2,796	1.0	18,072	16.0	2.6

表3-2 九州山口の中国向け輸出(1973年) (単位 100万円)

港 別	総 数	構成比	対前年 比(%)	食用に 適しない 原材料	化 学 工 業 生 産 品	原料別 製 品	機械類 輸送用 機器類	雑製品
九州山口計 〔%〕 (対前年比)	43,797 184.9	(100.0)	184.9	340 [0.8]	16,587 [37.9]	25,192 [59.5]	1,675 [3.8]	1 [0.0]
九 州 計	28,301	(64.6)	239.2	26	7,492	20,188	593	1
門 司	4,580	(10.5)	155.5	26	457	4,091	4	—
戸 畑	18,075	(41.3)	241.7	—	5,841	12,087	147	—
福岡空港	1	(0.0)	567.7	—	—	—	—	—
大 分	1,504	(3.4)	143.3	—	904	599	—	—
長 崎	209	(0.5)	327.3	—	—	—	209	—
佐 世 保	231	(0.5)	—	—	—	—	231	—
三 池	201	(0.5)	67.9	—	201	—	—	—
佐 賀 関	3,409	(7.8)	—	—	—	3,409	—	—
細 島	88	(0.2)	147.9	—	88	—	—	—
山 口 計	15,495	(35.4)	130.8	314	9,094	5,004	1,081	—
下 関	977	(2.2)	100.0	—	528	186	261	—
宇 部	5,226	(11.9)	118.2	—	5,226	—	—	—
徳 山	4,732	(11.0)	138.8	314	3,032	1,386	—	—
下 松	4,251	(9.7)	198.4	—	—	3,431	819	—
岩 国	307	(0.7)	34.4	—	—	—	—	—

表3-3 九州山口の中国向け輸出(1972年) (単位 100万円)

港 別	総 数	構成比	食用に 適しない 原材料	化 学 工 業 生 産 品	原料別 製 品	機械類 輸送用 機器類	雑製品
九州山口計 〔%〕	23,675	(100.0)	313 [1.3]	15,659 [66.1]	7,487 [31.6]	214 [0.9]	0 [0.0]
九 州 計	11,833	(49.98)	38	7,170	4,580	43	0
門 司	2,944	(12.4)	38	802	2,060	43	0
戸 畑	7,476	(31.6)	—	5,483	1,991	—	—
福岡空港	0	(0.0)	—	—	—	—	0
大 分	1,049	(4.4)	—	528	521	—	—
細 島	59	(0.2)	—	59	—	—	—
長 崎	6	(0.0)	—	—	6	—	—
三 池	295	(1.2)	—	295	—	—	—
山 口 計	11,842	(50.0)	274	8,488	2,907	171	—
下 関	976	(4.1)	—	321	483	171	—
徳 山	3,408	(14.4)	274	2,852	281	—	—
宇 部	4,421	(18.7)	—	4,421	—	—	—
下 松	2,142	(9.0)	—	—	2,142	—	—
岩 国	893	(3.8)	—	893	—	—	—

3分の1である。

九州山口の対中国貿易は73年輸出(437.9億円)は輸入(78.1億円)の5.6倍(72年は3.8倍)に当たり、入超幅はさらに増大している。

同年の輸出で九州(283.0億円)は九州山口全域の64.6%で山口県を大きく上回ったが、72年は九州(49.98%)よりも山口県(50.0%)が多かった(74年上期九州69.0%)。輸入では九州(73年69.5%、72年74.6%、74年上期63.6%)がここ3年間続いて上回っている。

さらに貿易額の多い港は輸出では戸畑(73年180.7億円)が九州山口の中国向けの41.3%(72年31.6%)で首位、宇部、徳山、門司がそれぞれ10%台でこれにつぐ。

また輸入では博多(73年18.9億円で24.3%、72年25.5%)が首位、徳山、門司(73年17億円台)が22%台でこれにつぎ(72年は門司21.0%、徳山16.8%)、戸畑(14.7%、72年13.0%)の順である。

◇ 主要輸出品

(1) 鉄 鋼

73年中国向け輸出のうち「原料別製品」(251.9億円)が59.5%(72年31.6%)と過半を占めているのが、そのうち「鉄鋼」(210.8億円)が83.7%(72年は90.7%)で首位(72年は67.8億円で化学肥料103.5億円が首位)を占めて前年比は数量(37万トン)で2.38倍、価額で3.1倍に著増し、前年の第1位「化学肥料」と順位を逆転している。

中国向け鉄鋼の輸出港は戸畑、門司、下松、徳山などがその主要港であるが、戸畑が圧倒的に多くなっている。

品目別では「鉄鋼の板およびユニバーサルプレート」(23.5万トン、153.8億円)が数量で鉄鋼の63.6%、価額で72.9%を占め、ついで「鉄鋼の棒および形鋼」(9.1万トン、39.4億円)が数量で24.7%、価額で18.7%に当たり、この2種類が数量で8.8割、価額で9.1割を占めている。数量の伸びが価

額のそれに比べ低率なことは前述のように輸出鉄鋼の価格上昇（昭49年6月輸出品物価指数141.6、45年基準、鉄鋼171.5、前年同月比64.9）によるものである。

なお73、72年鉄鋼輸出の詳細表をあげて個々の商品の動向は解説を省くことにするが、九州山口の中国向け鉄鋼数量の全国のそれに対する比率は73年14.1%、72年9.1%である。

つぎに九州における鉄鋼生産量をあげよう。（表3-11）

九州における鉄鋼生産を品別にみて対全国比はいずれも極めて低いことが注目される。（表3-12）

◇ 北九州鋼材の市中相場

日銀北九州支店調べによると、北九州地区の鋼材価格は74年9月初め鋼材は棒鋼（トン当たり7万8千円）、中形形鋼（8.8万円）、厚板（7.2万円）の価格は上記括弧内に示すとおりであったが、総需要抑制策によっ

表3-4 九州山口の中国からの輸入

港 別	総 数	構成比	前年比 (%)
九州山口計	7,817	(100.0)	127.4
[%] (対前年比)	[100.0]		
九州計	(127.4)		
門 司	5,433	(69.5)	118.6
戸 畑	1,756	(22.5)	136.5
博 多	1,147	(14.7)	143.3
福岡空港	1,899	(24.3)	121.2
大 分	37	(0.5)	440.2
細 島	23	(0.3)	103.9
長 崎	117	(1.5)	96.8
佐 世 保	182	(2.3)	650.2
三 池	18	(0.2)	14.5
八 代	67	(0.9)	80.0
鹿 児 島	33	(0.4)	222.0
山口計	148	(1.9)	28.6
下 関	2,384	(30.5)	153.1
宇 部	78	(1.0)	215.4
徳 山	523	(6.7)	103.3
岩 国	1,777	(22.7)	172.3
	5	(0.1)	71.8

表3-5 九州山口の中国からの輸入

港 別	総 数	構成比
九州山口計	6,135	100.0
構 成 比	(100.0)	
九州計	4,578	74.6
門 司	1,286	21.0
戸 畑	800	13.0
博 多	1,566	25.5
福岡空港	8	0.1
大 分	22	0.4
細 島	121	2.0
長 崎	28	0.5
佐 世 保	124	2.0
三 池	84	1.4
八 代	15	0.2
鹿 児 島	520	8.5
山口計	1,557	25.4
下 関	3	0.0
徳 山	1,030	16.8
宇 部	506	8.3
防 府	8	0.2
岩 国	7	0.1

(1973年)

(単位 100万円)

食料品 動 物	食用に 適しない 原材料	鉱物性 燃料・ 潤滑油	動物性 植物油	化 学 工 業 生 産 品	原料別 製 品	機械類 輸送用 機 器	雑製品	特 殊 取扱品
1,599 〔 20.5〕	3,836 〔 49.1〕	1,361 〔 17.4〕	0 〔 0.0〕	51 〔 0.7 〕	512 〔 6.5〕	2 〔 0.0〕	444 〔 5.7〕	8 〔 0.1〕
(132.8)	(98.4)	(393.6)	(-)	(44.0)	(152.9)	(-)	(203.1)	(80.0)
1,588	2,666	231	0	51	493	2	391	8
703	465	-	0	18	249	2	312	4
-	1,054	93	-	-	-	-	-	-
673	923	68	-	-	209	-	25	-
4	-	-	-	-	7	-	21	3
-	16	-	-	-	-	-	6	-
31	81	-	-	4	-	-	-	-
147	1	-	-	-	11	-	23	-
-	-	10	-	0	6	-	1	-
-	35	35	-	6	-	-	-	-
-	-	33	-	-	-	-	-	-
27	88	-	-	22	9	-	0	-
11	1,170	1,130	-	-	19	-	53	-
11	-	-	-	-	17	-	50	-
-	340	182	-	-	-	-	-	-
-	829	947	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	1	-	3	-

(1972年)

(単位 100万円、%)

食料品 動 物	飲 料 たばこ	食用に適し ない原材料	鉱物性燃 料潤滑油	化学工業 生 産 品	原料別 製 品	雑製品	特 殊 取扱品
1,208 〔 19.7〕	1 〔 0.0〕	3,898 〔 63.5〕	345 〔 5.6〕	116 〔 1.9〕	335 〔 5.5〕	218 〔 3.6〕	10 〔 0.2〕
1,202	1	2,554	183	83	328	217	6
646	-	311	-	36	124	166	-
-	-	735	65	-	-	-	-
424	-	870	50	-	190	31	-
-	-	-	-	-	1	-	6
-	-	20	-	-	-	1	-
9	-	112	-	-	-	-	-
3	1	-	-	-	6	16	-
98	-	-	25	-	-	-	-
-	-	49	27	4	3	0	-
-	-	-	15	-	-	-	-
19	-	454	-	42	1	1	-
6	-	1,344	162	33	6	0	3
1	-	1	-	-	-	0	-
-	-	1,030	-	-	-	-	-
-	-	311	162	33	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	3
-	-	0	-	-	6	0	-

表3-6 九州山口の中国向け輸出
(1974.1~6月、73.1~6月) (単位 100万円)

品 目 部 類 別	九州山口輸出計伸比率			構成比		九 州 計		門 司	
	74 (A)	73 (B)	(平均)	74	73	74	73	74	73
総 数	28,189	20,868	135.1	100.0	100.0	19,462	13,678	3,232	2,376
(%)	(100.0)					(69.0)		(11.5)	
0 食料品・動物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 食用に適しない原材料	285	157	187.9	1.0	0.7	59	—	59	—
5 化学工業生産品	9,657	8,066	97.6	34.3	38.7	3,897	4,332	198	257
6 原料別製品	17,250	11,917	163.1	61.2	57.1	14,900	9,109	2,714	2,114
7 機械類・輸送用機器	886	727	375.4	3.1	3.5	495	236	260	4
8 雜製品	—	1	—	—	—	—	1	—	—
9 特殊取扱品	109	—	—	0.4	—	109	—	—	—

[illegible][illegible]

表3-7 九州山口の中国からの輸入

(1974.1~6月、73.1~6月)

(単位 100万円)

品 目 部 類 別	九州山口輸入計		伸び率	構成比		九州計		門 司		苅 田		戸 畑	
	74	(A) 78(B)	(A/B)	74	78	74	78	74	78	74	78	74	78
総 数	10,479	2,796	374.8	100.0	100.0	6,667	1,911	1,664	554	27	—	480	488
(%)	(100.0)					(63.6)		(15.9)		(0.3)		(4.6)	
0食料品・動物	1,345	317	424.3	12.8	11.4	1,277	312	631	212	—	—	—	—
1飲料・たばこ	3	—	—	0.0	—	3	—	0	—	—	—	—	—
2食用に適しない原材料	2,687	1,814	148.1	25.7	64.9	1,795	1,076	422	118	—	—	450	435
3鉱物性燃料・潤滑油	5,570	215	259.1	53.2	7.7	2,793	104	—	—	27	—	24	53
4動物性植物油	3	—	—	0.0	—	3	—	3	—	—	—	—	—
5化学工業生産品	60	36	166.7	0.6	1.3	58	36	22	9	—	—	—	—
6原料別製品	297	241	123.2	2.8	8.6	292	232	220	98	—	—	4	—
7機械類・輸送用機器	—	0	—	—	0.0	—	0	—	0	—	—	—	—
8雑製品	511	170	300.6	4.9	6.1	443	148	363	115	—	—	—	—
9特殊取扱品	0	0	0	0.0	0.0	0	0	—	—	—	—	—	—

[illegible][illegible]

表3-8 九州山口の中国向け鉄鋼輸出

品 名	1973年 (A)	
	数 量	価 額
67 鉄 鋼	370,220	21,089,182
671-2 銑 鉄	16,857	298,815
671-200 銑 鉄	16,857	298,815
672-5 鉄鋼のブルーム、ビレット、スラブ、シートバー、 鉄鋼の荒鍛造したもの }		
672-512 鉄鋼のビレット（高炭素鋼のもの、合金鋼のもの を除く） }	—	—
672-7 鉄鋼のコイル（再圧延用のもの）	14,744	599,598
672-710 鉄鋼のコイル（高炭素鋼のもの、合金鋼のもの を除く） }	14,744	599,598
673 鉄鋼の棒および形鋼	91,524 (24.7%)	3,944,156 (18.7%)
673-1 鉄鋼の棒、形鋼	54,453	2,101,908
673-111 低炭素線材（炭素の含有量が0.09%以下のもの） （合金鋼のものを除く） }	39,983	1,494,462
673-112 普通線材（炭素の含有量が0.09%をこえ 0.25%以下のもの）（合金鋼のものを除く） }	6,039	233,501
673-113 快削鋼の線材	151	7,899
673-119 鉄鋼の線材（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く）	1,649	72,042
673-122 高炭素バネ鋼の線材	341	17,302
673-129 高炭素鋼の線材（その他のもの）	5,237	216,248
673-134 合金バネ鋼の線材	678	39,498
673-139 合金鋼の線材	375	20,956
673-2 鉄鋼の棒、中空のドリル鋼	37,071	1,842,248
673-221 小形丸鋼（直径が50mm以下のもの） （高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	—	—
673-227 機械構造用炭素鋼の棒（高炭素鋼のものを除く）	21,711	1,005,350
673-228 快削鋼の棒	1,759	93,771
673-242 高炭素バネ鋼の棒	117	5,949
673-249 高炭素鋼の棒（その他のもの）	200	8,404
673-261 構造用合金鋼の棒	6,031	334,729
673-262 合金バネ鋼の棒	5,597	309,971
673-269 合金鋼の棒（その他のもの）	1,656	84,074

単位 { 数量 価額		M T 1000 円	
1972 年 (B)		伸び率 (A/B)	
数 量	価 額	数 量	価 額
154,972	6,788,850	178.0	316.5
50,073	783,757	33.7	38.1
50,073	783,757	33.7	38.1
98	3,999	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
44,853	1,614,166	204.0	244.3
13,395	450,414	406.5	466.7
—	—	—	—
8,521	280,738	70.9	83.2
—	—	—	—
1,033	37,720	159.6	191.0
—	—	—	—
3,162	104,944	165.6	206.1
591	23,157	114.7	170.6
88	3,855	426.1	543.6
31,458	1,163,752	117.8	158.3
63	2,521	—	—
25,741	933,256	84.3	107.7
—	—	—	—
—	—	—	—
146	5,435	137.0	154.6
3,991	162,501	151.1	205.9
1,268	49,943	441.4	620.6
249	10,096	665.0	832.7

て需要が減退したことと、好調であつた輸出も価格高騰による不振もあつて 10 月上旬棒鋼（7 万 1 千円）、中形形鋼（7 万 8 千円）、厚板（6 万 6 千円）とそれぞれ値下がりした。

小口需要家向けの鋼材はメーカー、商社、特約店のルートを通じて需要家に渡るが、市場相場は特約店が商社から買う価格をいう。

今年の北九州地区の鋼材市中相場の動向は 1 月上旬棒鋼（9 万 7 千円）、中形形鋼（11 万円）、厚板（10 万 5 千円）の価格は 4 月大幅に低下し 6 月下旬 8 万 8 千円、9 万 2,500 円、8 万 1 千円までにそれぞれ持ち直した。現在（10 月）は 4 ～ 6 月ころに比べ出荷量が 2 ～ 3 割低下し、特に棒鋼形鋼は約半数に減り棒鋼など取引価格は 7 万円を割っているといわれ関東・関西では換金のための投げ売り

表3—8 九州山口の中国向け鉄鋼輸出（続き）

品 名	1973年 (A)	
	数 量	価 額
674 鉄鋼の板およびユニバーサルプレート	235,468 (63.6%)	15,387,931 (72.96%)
674-1 鉄鋼の厚板（厚さが4.75mmをこえるもの） （すずをメッキしたものを除く）および ユニバーサルプレート }	13,301	530,472
674-131 鉄鋼の厚板（厚さが4.75mmをこえ6mm以下の もの）（高炭素鋼、合金鋼のものを除く） }	3,637	140,926
674-132 鉄鋼の厚板（厚さが6mm以上のもの） （高炭素鋼、合金鋼のものを除く） }	9,410	357,223
674-150 高炭素鋼の厚板、ユニバーサルプレート	36	4,021
674-160 合金鋼の厚板、ユニバーサルプレート	218	28,302
674-2 鉄鋼の中板	15,859	670,015
674-230 鉄鋼の中板（高炭素鋼のもの、合金鋼のもの を除く） }	15,488	602,462
674-240 高炭素鋼の中板	26	3,166
674-250 合金鋼の中板	345	64,387
674-3 鉄鋼の薄板（厚さが3mm以下のもの）（クラッド のもの、メッキ、プリント、その他の被覆したも のを除く） }	128,512	8,329,433
674-321 冷間圧延鋼板（厚さが0.9mm以下のもの） （高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	68,346	3,207,492
674-322 冷間圧延鋼板（厚さが0.9mmをこえ3mm以下 のもの）（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを 除く） }	23,757	1,061,741
674-331 高炭素鋼工具鋼の薄板	—	—
674-342 ステンレス鋼または耐熱鋼の薄板	619	124,380
674-343 けい素鋼の薄板（巻いてないもの）	8,188	767,821
674-344 けい素鋼の薄板（巻いたもの）	27,602	3,167,999
674-7 鉄鋼の板（すずをメッキしたもの）	56,703	4,622,424
674-710 鉄鋼の板（すずをメッキしたもの）	56,703	4,622,424
674-8 鉄鋼の薄板（厚さが3mm以下のもの）（クラッド のものおよびメッキ、プリントその他の被覆をし たもの）（すずをメッキしたものを除く） }	22,093	1,235,587
674-811 亜鉛鉄板（平板）（厚さ0.32mm以下の もの）（巻いてないもの） }	1,699	107,479

単位 {		数量 M T		
価額		1000円		
1972年 (B)		伸 び 率 (A/B)		
数 量	価 額	数 量	価 額	
57,302	4,165,341	410.9	369.4	
2,697	115,841	493.1	457.9	
217	8,002	1,676.0	1,761.1	
1,855	63,096	507.2	5,487.6	
-	-	-	-	
625	44,743	34.8	63.2	
3,962	179,720	400.2	372.8	
3,637	123,315	425.8	488.5	
-	-	-	-	
325	56,405	106.1	114.1	
18,163	1,489,334	761.9	559.2	
3,502	229,988	1,951.6	1,394.6	
2,134	84,744	1,113.2	1,252.9	
99	5,408	-	-	
1,197	206,216	-	-	
3,640	280,059			
7,591	682,919			
31,256	2,320,490			
-	-	-	-	
1,224	59,956	1,804.9	2,060.7	
298	15,270	570.1	703.8	

も表われている。土木建築
 方面の需要減で国内消費が
 減退したにもかかわらず9
 月上旬まで鋼材市中相場が
 さほど低落しなかったのは
 輸出の好調でそれをカバー
 していたとみられている。
 しかしその輸出は最近引き
 合いが減っているといわれ、
 石油値上りで中南米、東南
 アジアの外貨事情が悪化し
 たため棒鋼・形鋼を中心と
 して鋼材輸入を手控えてい
 るとみる向きもある。

なお中国の鉄鋼輸入(70
 年3億3,854万ドル)のう
 ち日本70.1%、西独(19.0
 %)、ベネルックス(2.9
 %)、また71年(3億8,271
 万ドル)は日本同じく70.1
 %、西独(16.2%)、イタ
 リア(3.6%)の順で、わ
 が国は圧倒的比重を持って
 いるのである。

表3—8 九州山口の中国向け鉄鋼輸出（続き）

品 名	1973年 (A)	
	数 量	価 額
674-812 亜鉛鉄板（平板）（厚さが0.32mm以上のもの）（巻いてないもの） }	18,576	1,033,136
674-832 亜鉛鉄板（波板）（厚さが0.32mmをこえるもの）	1,818	94,972
675 鉄鋼の帯	1,998	129,559
675-041 鉄鋼の帯（冷間圧延をしたもの）（幅が50mm以下のもの）（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	1,998	129,559
675-051 高炭素工具鋼の帯	—	—
675-063 ステンレス鋼または耐熱鋼の帯	—	—
678 鉄鋼の管および管用継手	8,629	729,123
678-2 継目なし鋼管（鋳鉄管を除く）	—	—
678-231 継目なしステンレスの管	400	220,515
678-3 鉄鋼の管（鋳鉄管を除く）（熔接その他の方法により製造したもの） }	8,229	508,608
678-311 溶銲接配管用鋼管（ガス管）（メッキしてないもの）（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	6,571	412,903
678-312 溶銲接配管用鋼管（ガス管）（メッキしたもの）（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	1,205	70,507
678-318 溶銲接鋼管（メッキしてないもの）（高炭素鋼のもの、合金鋼のものを除く） }	453	25,198
679-3 鉄鋼の鍛造物（ドロップ鍛造のものを含む）（加工をしてないもの） }	—	—
679-300 鉄鋼の鍛造物（ドロップ鍛造のものを含む）（加工をしてないもの） }	—	—

表3—9 九州山口の中国向け鉄鋼輸出

単位 { 数量 千トン
価額 百万円

港 別	1973年		1972年	
	数 量	価 額	数 量	価 額
戸 畑	211.3	12,077	45.9	1,965
門 司	78.7	3,558	45.7	1,673
下 松	40.9	3,431	28.6	2,142
徳 山	24.3	1,386	1.7	281
大 分	14.7	599	32.3	521
長 崎	—	—	0	6
下 関	0	34	0	198

単位 { 数量 M T 価額 1000 円			
1972年 (B)		伸び率 (A/B)	
数 量	価 額	数 量	価 額
776	37,739	2,393.8	2,737.5
150	6,947	1,212.0	1,367.0
206	17,435	969.9	743.0
—	—	—	—
205	17,286	—	—
1	149	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
430	198,157	93.0	111.2
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
10	5,995	—	—
10	5,995	—	—

表3-10 九州山口の中国向け鉄鋼輸出

品 目	1973年 (A)	
	数 量	価 額
67	370,220	21,089.1
671-2 銑 鉄	16,857	298.8
672-5 鉄鋼のブルーム、ピレットなど、鉄鋼の荒鍛造したもの	—	—
672-7 鉄鋼のコイル（再圧延用のもの）	14,744	599.5
673-1 鉄鋼の棒・形鋼	54,453	2,101.9
673-2 鉄鋼の棒・中空のドリル鋼	37,071	1,842.2
674-1 鉄鋼の厚板	13,301	530.4
674-2 鉄鋼の中板	15,859	670.0
674-3 鉄鋼の薄板（クラッドのもの、メッキ、プリント } その他の被覆したものを除く）	128,512	8,329.4
674-7 鉄鋼の板（すずをメッキしたもの）	56,703	4,622.4
674-8 鉄鋼の薄板（クラッドのもの、メッキ、プリント } その他の被覆をしたもの）	22,093	1,235.5
675 鉄鋼の帯	1,998	129.5
678-2 継目なしの鋼管	400	220.5
678-3 鉄鋼の管	8,229	508.6
679-3 鉄鋼の鍛造物	—	—

表3-11 九州の鉄鋼生産量

品 名	1972年	1973年	対全国比	品 名	1972年
銑 鉄	10,251.0	12,955.2	0.1	棒 鋼	991.6
製鋼用	238.5	12,648.2	0.1	（一般・再生）	
鋳物用	10,251.0	307.0	0.2	管 材	50.6
フェロアロイ	161.6	214.1	0.1	線 材	703.4
粗 鋼	11,492.0	14,889.4	0.1	厚 板	1,054.0
普通鋼	10,254.0	13,464.2	0.1	中 板	116.0
特殊鋼	1,239.0	1,425.1	0.1	薄 板	167.1
鍛 鋼（打放）	47.1	50.8	0.0	電気鋼板	—
普通鋼	28.1	30.7	0.0	広幅帯鋼	4,301.0
特殊鋼	18.4	20.1	0.0	帯 鋼	17.6
鋳 鋼（鋳放）	84.5	117.1	0.1	特殊鋼	649.7
普通鋼	52.1	70.1	0.1	鋼 管	231.3
特殊鋼	32.4	46.9	0.2	鋳鉄管	4.0
鋼半成品	10,019.0	13,372.0	0.1	冷間仕上鋼材 }	4.2
普通鋼熱間 }	8,649.0	11,575.1	0.3	（普通鋼）	
圧延鋼材 }				みがき帯鋼	4.2
軌 条	212.4	327.5	0.6	冷延広幅帯鋼	1,660.0
鋼矢板	359.6	453.7	0.3	冷延鋼板	320.9
形 鋼	675.1	903.6	0.1	冷延電気帯鋼	365.9

（資料）九州通商産業年報 49年版 28ページ

		単位 {		数量 M T 価額 100 万円	
1972 年年(B)		構 成 比		伸 び 率 (A/B)	
数 量	価 額	1973年	1972年	数 量	価 額
154,972	6,788.8	100.0	100.0	238.9	310.6
50,073	783.7	1.4	11.5	33.6	38.1
98	3.9	—	0.1	—	—
—	—	2.8	—	—	—
13,395	450.4	10.0	6.6	406.5	466.7
31,458	1,163.7	8.7	17.1	117.8	158.3
2,697	115.8	2.5	1.7	493.1	458.0
3,962	179.7	3.2	2.6	400.2	372.8
20,163	1,489.3	39.5	21.9	637.4	559.2
31,256	2,320.4	21.9	34.2	181.4	199.2
1,224	59.9	5.9	0.9	1,804.9	2,062.6
206	17.4	0.6	0.3	969.9	744.2
430	198.1	1.0	2.9	93.0	111.3
—	—	2.4	—	—	—
10	5.9	—	0.1	—	—

(単位 1000 トン)					
1973年	対全国比	品 名	1972年	1973年	対全国比
1,131.1	0.0	みがき棒鋼	13.5	16.1	0.0
		鉄 線	71.2	71.8	0.0
50.6	0.0	硬鋼線	25.3	27.6	0.0
919.3	0.2	メッキ鋼材 } (普通鋼)			
1,250.8	0.1				
137.3	0.1	ブリキ	571.0	595.8	0.3
168.2	0.2	亜鉛メッキ鋼板	733.7	843.7	0.2
—	—	亜鉛メッキ硬鋼板	15.5	15.4	0.1
6,210.5	0.2	軽量形鋼	49.8	6.4	0.0
22.2	0.0	鉄鋼加工成品			
840.5	0.1	鋼 索	18.9	19.8	0.1
311.2	0.0	金 網	9.7	13.4	0.1
4.4	0.0	く ぎ	23.0	21.8	0.1
		電気溶接棒	2.1	2.1	0.0
		ドラムかん	11.4	13.2	0.0
3.5	0.0	18ℓかん	12.1	14.2	0.1
1,816.9	0.1	食かん	23.7	37.8	0.1
392.3	0.1				
497.0	0.4				

(2) 化学肥料

前項の日中貿易でみたように73年わが国化学肥料の輸出(433.4万トン)のうち中国向け(252.6万トン)は58.3%と約6割弱であるが、同年九州の化学肥料輸出(151.7万トン、216.8億円)は全国の数量の40.8%、価額で

表3-12 わが国の中国向け化学肥料輸出 単位{ 1000トン
百万ドル

区 分	1971年		1972年		1973年		対前年比 (%)
	数 量	価 額	数 量	価 額	数 量	価 額	
化学肥料	3,995	155,599	5,108	212,570	4,334	266,344	125.3
うち中国向け	2,799	99,978	3,115	119,760	2,526	132,725	110.8

(資料) 通商白書 49年版 92ページ

表3-13 わが国の中国向け化学肥料輸出 単位{ 数量 トン
価額 百万円

品 名	1973 年		1972 年	
	数 量	価 額	数 量	価 額
計	2,526,962	36,090	1,357,068	9,642
塩化アンモニウム	596,100	5,579	673,132	4,786
硫酸アンモニウム	531,170	5,203	647,936	4,436
尿 素	1,394,692	25,197	—	—
過りん酸石灰	2,000	21	32,599	355
複合肥料	3,000	88	3,000	59

表3-14 九州山口の中国向け肥料輸出 単位{ 1000トン
百万円

種 別	1973年 (A)		1972年 (B)		伸び率 (A/B)	
	数 量	価 額	数 量	価 額	数 量	価 額
合 計	1,030	12,113	1,126	10,355	7.2	17.0
字 部	360	4,801	368	3,878	(-) 2.2	23.8
戸 畑	332	4,208	362	3,669	53.7	14.7
細 島	3	88	3	59	—	49.1
門 司	—	—	11	80	—	—
徳 山	334	3,015	382	2,667	(-)10.0	13.0
(うち)						
尿 素	249	4,538	150	4,226	66.0	7.4
硫 安	239	2,403	244	1,698	(-) 2.1	41.5
塩 安	538	5,083	602	4,331	(-)10.7	17.4
その他の肥料	3	88	3	59	—	49.1

33.6 %に当たるが、うち中国向け（103.0 万トン、121.1 億円）は全国の中国向け肥料の数量の 67.9 %、また価額の 55.9 %と過半を占め、そのシェアは極めて大きいものがあることを指摘せねばならぬ。

輸出港は宇部・戸畑・徳山を主として数量の伸びは 7.2 %増に対し価額では 17.0 %増を示している。

種類は塩安（50.8 億円）、尿素（45.3 億円）、硫安（24.0 億円）の順である。

つぎに九州の化学肥料の生産量をあげ、全国生産量に対する割合を示しておく。

表 3-15 九州の化学肥料生産量 (単位 トン)

品 名	1972 年	1973 年	九州/全国
アンモニアおよびアンモニア誘導品			
アンモニア	328,659	337,000	8.5
アンモニア水、液体アンモニア	68,005	124,132	21.1
硝 酸	216,195	228,624	32.4
硝酸アンモニウム	51,945	59,879	40.1
塩化アンモニウム	169,999	181,230	18.7
硝酸アンモニウム			
合 成	5,738	} 197,899	12.6
回 収	215,245		
副 生	90,636	92,295	19.2
合 計	311,619	290,194	14.2
尿 素	218,928	237,040	6.9
硝酸ナトリウム	11,620	15,951	60.2
亜硝酸ナトリウム	8,277	8,686	36.1
カルシウムカーバイドおよび石灰窒素			
カルシウムカーバイド	98,200	99,161	16.9
石灰窒素	36,056	38,154	23.9
りん酸質肥料			
過りん酸石灰	37,752	39,551	5.5
溶成りん肥	53,807	43,309	11.5
焼成りん肥	19,520	14,554	15.1
複合りん肥	638,569	625,670	17.6

◇ 主要輸入品

73年中国からの輸入（78.1億円）は前年比27.4%増で、「食用に適しない原材料」（38.8億円）が49.1%で首位、「食料品・動物」（15.9億円）が20.5%、「鉱物性燃料・潤滑油」（13.6億円、72年3.4億円で構成比5.4%）が17.4%の順でこれら3類別で87%を占める。

すでに観察した輸出では重化学工業品が大きな比重を占めたのに対し輸入は原材料，食料品が主体であって日中貿易が両国間に補完的役割を果たしているといわれるゆえんであって、「石油・その製品」（73年10.7億円、72年8千万円）が13倍に激増したことが注目される。

73年輸入品中、1億円以上のものを順にあげておこう。塩（19.9億円、71.7万トン）、石油・同製品（10.7億円、うち徳山へ原油12.4万リットル9.3億円）、大豆（10.2億円、1.7万トン）、果実・野菜（8.8億円）、ほたる石（2.1万トン、3.0億円）、無煙炭（4.7万トン、2.8億円）、飼料（2.5億円）、魚・同調製品（91.1トン、2.2億円）のほか穀類・同調製品、ひまの種、桐の丸太、動植物性原料、織物の糸などが1億円台である。

(B) 九州山口県産品の中国向け輸出

本稿の「はじめに」の項でここで利用する貿易統計資料について概略を述べておいたので、県産品輸出実績を最近の資料によってその動向をみよう。

まず税関統計による九州山口の中国向け輸出通関実績は72年（236億7千万円）でうち九州（118億3千万円）、山口（118億4千万円）の構成比では山口がわずかに上回っているが、73年は九州山口の対中国輸出（437億9千万円）は前年に比べ84.9%増と著増し特に九州（283億円）は約2.4倍の激増を示し山口（154億9千万円）の伸び（30.8%増）を大きく上回ったため九州が九州山口対中国輸出の64.6%を占め山口は35.4%となったことは前述のとおりである。

つぎに県産品の中国向け輸出は72年山口（150億8千万円）は九州（86億

円)を大きく上回ったが、山口県所在の税関(下関ほか4港)の中国向け輸出(118億4千万円)を32億4千万円上回ったのに対し九州内の税関から中国向けに輸出通関(門司港ほか6港)されたもの(118億3千万円)は上記の九州県産品の中国向け輸出を32億3千万円下回ったのである。このように九州の下回った価額と山口の上回った価額とはほぼ同額である。このことは山口県内税関から輸出されるはずの商品が九州内の税関たとえば門司港などから輸出手続されたこと、それは入港船舶の関係で山口県産品が北九州港から中国へ

輸出されたのではない
かと思われる。

なお表3-16は、
九州山口の開港場の港
勢を入港船舶でみたも
のでこれら20港は輸
出・輸入で対中貿易が
48年にあった入港船
のうち何隻が中国貿易
で運航したかは不明で
ある。ただし中国船
108隻(39.9万トン)
には修理など貿易とは
無関係な目的で入港し
たものを含むとしても
大半は貨物の積み卸し
で入港したものであろ
う。

表3-16 中国貿易のあった九州山口税関の
入港船舶数 (1973年)

港 別	入 港 船 舶		うち 中国船	
	隻 数	純 屯 数	隻 数	純 屯 数
九 州 計	7,696	45,292,110	71	255,135
門 司	2,422	9,592,978	40	145,545
戸 畑	1,777	12,374,797	31	109,590
博 多	1,129	2,891,015		
苅 田	79	366,015		
大 分	578	10,063,977		
佐 賀 関	95	428,395		
細 島	238	997,630		
油 津	66	53,866		
長 崎	252	3,628,667		
佐 世 保	273	2,344,962		
三 池	212	579,984		
三 角	127	268,590		
八 代	148	428,724		
鹿 児 島	300	1,272,510		
福岡空港	1,675(機)			
山口県計	6,911	23,026,268	37	144,694
下 関	4,841	10,465,292	28	110,607
宇 部	348	1,048,312		
徳 山	945	5,659,014	9	34,087
下 松	390	2,462,054		
岩 国	387	3,391,596		

(資料) 門司税関、長崎税関 外国貿易月表(1973.12)

表3-17 九州山口県産品輸出 (単位 100万円)

県 別	総 輸 出 額			うち 中国向け			中国向け割合	
	1973 (A)	72 (B)	対前 年比(%)	73 (C)	72 (D)	対前年比(%)	73	72
九州計	519,002	344,360	150.7	28,618	8,598	332.8	5.5	2.5
福岡	253,342	187,794	134.9	24,524	8,163	300.4	9.7	4.3
佐賀	12,304	10,913	112.7	51	14	350.7	0.4	0.1
長崎	153,908	76,797	200.4	178	135	131.8	0.1	0.2
熊本	19,863	18,795	105.7	285	—	—	—	—
大分	63,771	35,505	179.6	3,492	227	1,538.3	5.5	0.6
宮崎	4,751	5,885	80.7	88	59	147.9	1.9	1.0
鹿児島	11,063	8,721	126.8	—	—	—	—	—
山口	200,651	169,435	118.4	17,395	15,085	119.3	8.7	8.9

表3-18 九州山口県産品中国向け輸出 (1973年)

輸出品目	九州計	%	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分
総 数	28,618	(100.0)	24,524	51	178	285	3,492
(%)	[100.0]		[85.7]	[0.2]	[0.6]	[1.0]	[12.2]
食料・飲料	21	(0.1)	0	—	—	—	21
繊維製品	148	(0.5)	136	—	—	—	12
紙・同製品	—	—	—	—	—	—	—
木竹材・同製品	—	—	—	—	—	—	—
動植物・同製品	—	—	—	—	—	—	—
油脂・化学製品	4,813	(16.8)	4,346	—	—	210	169
金属・鉄鋼製品	20,507	(71.7)	19,772	—	40	—	695
非金属鉱産物・同製品	4	—	—	4	—	—	—
機械器具	2,986	(10.4)	270	47	—	75	2,594
雑製品	138	(0.5)	—	—	138	—	—

表3-19 九州山口県産品中国向け輸出 (1972年)

輸出品目	九州計	%	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分
総 数	8,600	(100.0)	8,163	14	135	—	227
(%)	[100.0]		[94.9]	[0.2]	[1.6]	—	[2.6]
食料・飲料	0	((0.0)	0	—	—	—	—
繊維製品	130	(1.5)	130	—	—	—	—
紙・同製品	—	—	—	—	—	—	—
木竹材・同製品	—	—	—	—	—	—	—
動植物・同製品	—	—	—	—	—	—	—
油脂・化学製品	4,565	(53.1)	4,277	—	—	—	227
金属・鉄鋼製品	3,634	(42.3)	3,534	—	99	—	—
非金属鉱産物・同製品	—	—	—	—	—	—	—
機械器具	270	(3.1)	220	14	36	—	—
雑製品	—	—	—	—	—	—	—

さて上述のように73年九州県産品の中国向け輸出は前年比3.3倍増、山口は19.3%増と伸び率は大きく開いているが、73年の九州山口輸出実績（460億円）のうち福岡（245億円で53.3%）、山口（173.9億円で37.8%）でその9割を占めている。

福岡県産品の73年中国向けは「鋼材」（190億円、77.5%、72年は43.3%）、「肥料」（25.9億円、10.6%、72年25.9%）、「工業薬品」（11.4億円、4.7%、72年15.3%）の順で鋼材の著増のほか肥料の2.2割増、工業薬品の8.1%減などが主要なものである。

つぎに山口は「化学製品」（主として肥料、116.6億円、64.8%、72年79.7%）が首位、前年比3%減、「鉄鋼」（50.5億円、28.1%、72年18.9%）は前年比76.9%増などが主要なものである。

（C） 関門港の利用度

北九州市、北九州港管理組合、下関市が西日本11県（九州7県、島根、広島、山口、愛媛）所在のメーカーを中心に貿易貨物の流動量を調査した「西日本貿易商品流動量統計」を刊行している。これは主要関係メーカー（71年410社、72年774社、73年722社）を対象に調査票を送附し回答を依頼したもの（71年分回答310社回収率75.6%、72年424社、回収率55%、73年468社、回収率65%）である。調査票の回収率は年によって異り必ずしも高率ではないが、物量的に港湾の利用状態を知ることができる。

（単位 100万円）

宮 崎	鹿 児 島	山 口
88	—	17,995
[0.3]	—	—
—	—	—
—	—	97
—	—	—
—	—	25
—	—	—
88	—	11,666
—	—	5,057
—	—	9
—	—	1,140
—	—	—

（単位 100万円）

宮 崎	鹿 児 島	山 口
59	—	15,085
[0.7]	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	41
—	—	—
59	—	12,020
—	—	2,858
—	—	99
—	—	65
—	—	—

表3-20 福岡県産品中国向け輸出

(単位 1000円)

輸出品目	1973年 (A)		1972年 (B)		伸び率
	価額	構成比	価額	構成比	($\frac{A}{B}$)
総数	24,524,372	100.0	8,163,416	100.0	300.4
1. 食料および飲料	(11)	(0.0)	(87)	(0.0)	(12.6)
船舶給水	11	0.0	87	0.0	12.6
2. 繊維製品	(136,727)	(0.5)	(130,719)	(1.6)	(104.6)
輸出用各種布袋	136,727	0.5	130,719	1.6	104.6
3. 油脂および化学製品	(4,364,199)	(17.8)	(4,277,590)	(52.4)	(102.0)
染料関係	266,904	1.1	51,217	0.6	521.1
工業薬品	1,149,175	4.7	1,250,997	15.3	91.9
農業薬品	196,820	0.8	—	—	—
合成品関係	118,900	0.5	757,629	9.3	15.7
ア系製品	24,425	0.1	32,412	0.4	75.4
肥料関係	2,591,975	10.6	2,110,455	25.9	122.8
カーボンブラック	—	—	2,660	0.0	—
樹脂関係	—	—	68,620	0.8	—
中間物関係	—	—	3,600	0.0	—
4. 金属および鉄鋼製品	(19,771,626)	(80.6)	(3,534,964)	(43.3)	(559.3)
ワイヤロープ	82,257	0.3	40,435	0.5	203.4
銅管	672,447	2.7	337,900	4.1	199.0
亜鉛板	870	0.0	—	—	—
鋼材	19,016,052	77.5	3,156,244	38.7	602.5
5. 機械器具製品	(269,809)	(1.1)	(220,056)	(2.7)	(122.6)
電動機・同部品	173,960	0.7	72,710	0.9	239.3
ポンプ・同部品	2,777	0.0	—	—	—
歯科機材	37	0.0	—	—	—
制御盤・制御器具	69,980	0.3	18,030	0.2	388.1
バルブ	21,261	0.1	33,103	0.4	64.2
乾燥機	1,794	0.0	—	—	—
研削盤・同部品	—	—	5,313	0.1	—
工業用プラント	—	—	90,900	1.1	—

表3-21 佐賀県産品中国向け輸出
(単位1000円)

輸出品目	1973年		1972年	
	価額	構成比	価額	構成比
総数	51,196	100.0	14,600	100.0
窯業・土石	4,255	8.3	—	—
機械器具	46,941	91.7	14,600	100.0

表3-22 長崎県産品中国向け輸出
(単位1000円)

品名	1973年			1972年		
	数量	価額	構成比	価額	構成比	
総数		178,564	100.0	135,128	100.0	
特殊鋼板	351トン	40,274	22.6	74,806	55.4	
パッカースケール	10台	29,560	16.6	—	—	
鍛鋼板		—	—	24,253	17.9	
船舶修理	5隻	108,730	60.8	36,069	26.7	

表3-23 熊本県産品中国向け輸出
(単位1000円)

輸出品目	1973年	
	価額	構成比
総数	285,633	100.0
化学製品	209,841	73.5
合成樹脂	176,341	61.7
人造プラスチック	33,500	11.7
機械器具	75,792	26.5
インフレーション装置	1,800	0.6
その他の機械	73,992	25.9

(注) 72年は中国向けなし

表3-24 大分県産品中国向け輸出
(単位1000円)

輸出品目	1973年		1972年	
	数量	価額	数量	価額
総数		3,492,936		227,832
(食料品・動物)				
オイスタージュース	2,808	21,062		
(化学工業生産品)				
アセトアルデヒド	1,925	112,799	6,349	227,832
合成樹脂	KT 670	56,370		
鉄鋼	MT 15,408	695,615		
アノード	KG 4,388	2,594,597		
ボンネルメリヤス糸	EG 16,174	12,493		

表3-25 宮崎県産品中国向け輸出
(単位1000円)

輸出品目	1973年	1972年
	価額	構成比
総数	88,365	59,736
化学工業品		
肥料	88,365	59,736

表3-26 山口県産品中国向け輸出
(単位100万円)

輸出品目	1973年		1972年	
	価額	構成比	価額	構成比
総数	17,995	100.0	15,085	100.0
繊維・同製品	97	0.5	—	—
木竹材・同製品	25	0.0	41	0.3
鉱物性燃料	5	0.0	—	—
化学製品	11,661	64.8	12,020	79.7
鉄鋼	5,057	28.1	2,858	18.9
非鉄金属製品	9	0.0	99	0.7
機械	1,140	6.6	65	0.4

積出港、揚荷港は北九州港（下関港を含む）、神戸以東港、その他港（博多、大分、宇部、徳山など）の3区分とし、品目分類は運輸省指定統計要領による54品目である。

上記のように46年調査客体および調査票回収数が少ないのでこれを除き72、73年両年についてみると、輸出は800万トン前後、輸入は5千万トン前後で北九州港を利用する貨物は輸出で約50%、輸入では40%である。このように輸出では北九州港が優位にあるが、輸入では「その他港」が両年とも50%に当たり北九州港を上回っていることが注目される。

さてこの統計資料から中国関係を描き出してみると、輸出では九州中国四国11県の16.9%（72年）、19.2%（73年）に当たり、輸入では1.3%（72年）、1.8%（73年）と低率である。

つぎに品目別ではまず輸出の首位は「化学肥料」（72年106万トンで79.1%を占め、73年120万トンで75.2%）、ついで「鉄鋼」（72年10.9万トンで81.4%、73年31.0万トンで19.4%）、「化学薬品」（72年7.9万トンで5.9%、73年5.2万トンで3.3%）の順であり、輸入では「原塩」（72年60万トンで95.3%、73年42.5万トンで43.3%）のほかに73年「原油」（50.9万トンで51.9%）がトップを占めたこと、その揚荷港が「その他港」であることが注目される。また「原塩」の揚荷港も北九州港（10.8万トン）よりも「その他港」（31.6万トン）が多いことが指摘される。

73年「石炭」（2.1万トン）の輸入増も同年輸入の伸びに寄与している貨物である。

（注）北九州市商工部では毎年「北九州市貿易統計」を刊行しているが、この統計は通関実績を基礎資料としたもので、「北九州港」とは門司港（小倉、田野浦を含む）と戸畑港（八幡、若松を含む）を合わせた総称である。

表3-27 九州中国四国(11県)輸出入トン数

県 別	輸 入			輸 出		
	1971年	1972年	1973年	1971年	1972年	1973年
総 数	27,329	48,401	53,186	7,081	7,893	8,350
九州計	22,916	27,983	32,238	4,632	4,787	5,676
福 岡	20,399	19,912	21,782	4,351	4,277	4,517
佐 賀	13	409	282	39	39	20
長 崎	36	46	80	35	38	71
熊 本	284	992	414	116	136	105
大 分	930	5,414	7,891	73	279	873
宮 崎	1,252	1,202	1,270	9	10	83
鹿 児 島	-	5	515	6	5	5
中国四国計	4,413	20,417	20,947	2,448	3,105	2,674
広 島	20	29	30	88	42	41
島 根	35	98	54	87	29	29
山 口	2,747	15,881	16,347	1,518	2,482	2,103
愛 媛	1,609	4,407	4,515	454	551	498

表3-28 九州中国四国(11県)輸出入貨物トン数(港別)

地 域 別	(単位 1000トン)							
	輸 入 (揚荷港別)				輸 出 (積港別)			
	計	北九州港	神戸	以東港	計	北九州港	神戸	以東港
(1971年)								
総 数	27,329	19,949	349	7,031	7,081	4,423	877	1,780
九 州 計	22,916	19,567	230	3,119	4,632	4,094	308	230
中国四国計	4,413	381	118	3,912	2,448	328	569	1,550
(1972年)								
総 数	48,401	19,711	620	28,069	7,893	3,848	1,967	2,077
九 州 計	27,983	19,095	479	8,408	4,787	3,505	880	401
中国四国計	20,417	616	140	19,661	3,105	343	1,087	1,675
(1973年)								
総 数	53,186	21,860	519	30,806	8,350	4,257	881	3,211
九 州 計	32,238	21,137	333	10,767	5,676	3,840	323	1,512
中国四国計	20,947	723	185	20,038	2,674	416	558	1,699

表3-29 九州・中国・四国(11県)の中国向け輸出
(1973年) (単位 トン)

輸 出 品	輸 出 計	北九州港	神戸以東港	その他港
総 数	1,600,074	607,581	28,243	964,250
(%)	(100.0)	(38.0)	(1.8)	(60.2)
鉄 鋼	310,356	250,652	6,294	53,410
非鉄金属	275	272	3	—
金属製品	1,800	550	1,250	—
その他の機械	3,867	2,400	67	1,400
その他の窯業品	130	130	—	—
石油製品	2,590	—	2,590	—
化学薬品	52,030	51,080	—	950
化学肥料	1,202,570	293,250	1,130	908,190
染料・塗料・合成樹脂 } その他の化学工業品	13,317	9,377	3,640	300
糸・紡績半製品	13,108	—	13,108	—
その他繊維工業品	31	—	31	—

表3-30 九州・中国・四国(11県)中国からの輸入トン数
(1973年) (単位 トン)

輸 入 品	輸 入 計	北九州港	神戸以東港	その他港
総 数	982,064	124,956	8,037	849,071
(%)	(100.0)	(12.7)	(0.8)	(86.5)
米・雑穀・豆	65	65	—	—
野菜・果物	1,478	432	50	996
その他木材	5,650	3,400	2,250	—
石 炭	21,900	—	—	21,900
その他の金属鉱	2,491	—	2,491	—
原 油	509,245	—	—	509,245
原 塩	425,557	108,327	300	316,930
その他非金属鉱物	6,400	6,400	—	—
鉄 鋼	3,300	3,300	—	—
化学薬品	2,035	758	1,277	—
染料・塗料・合成樹脂 } その他の化学工業品	23	—	23	—
その他の食料工業品	599	368	231	—
動植物性製造・飼肥料	3,049	1,906	1,143	—
分類不能のもの	272	—	272	—

表3-31 九州・中国・四国(11県)の中国向け輸出トン数
(1972年) (単位 トン)

輸 出 品	輸 出 計	北九州港	神戸以東港	その他港
総 数	1,341,466	552,941	50,975	737,550
(%)	(100.0)	(41.2)	(3.7)	(55.0)
鉄 鋼	109,262	76,738	172	32,352
非鉄金属	780	780	—	—
金属製品	56,777	50,881	5,896	—
その他の機械	279	—	279	—
石油製品	1,211	1,211	—	—
化学薬品	79,479	68,173	2,149	9,157
化学肥料	1,061,124	342,300	28,100	690,724
染料・塗料・合成樹脂 その他の化学工業品 }	23,919	12,858	5,744	5,317
糸	8,635	—	8,635	—

表3-32 九州・中国・四国(11県)の中国からの輸入トン数
(1972年) (単位 トン)

輸 入 品	輸 入 計	北九州港	神戸以東港	その他港
総 数	630,567	230,423	7,596	392,548
(%)	(100.0)	(36.5)	(1.2)	(62.3)
米・雑穀・豆	6,400	1,290	610	4,500
野菜・果物	440	358	82	—
綿 花	30	30	—	—
その他の畜産品	219	—	219	—
原 木	1,007	—	—	1,007
その他の木材	1,206	1,206	—	—
石 炭	3,781	—	—	3,781
原 塩	600,815	216,295	1,260	383,260
その他非鉄金属鉱物	10,937	9,613	1,324	—
その他窯業品	1,403	—	1,403	—
化学薬品	2,334	928	1,406	—
その他食料工業品	1,095	503	592	—
その他製造工業品	500	200	300	—
動植物性製造肥飼料	400	—	400	—

(D) 中国市場における日本商品の競合関係

以上みて来た日中貿易、九州山口の対中国貿易は、すべて日本側の資料による観察であるが、実は中国側から日中貿易を中国対外貿易の中で位置づける観察が極めて重要であることはいうまでもない。

しかし中国は貿易統計を公表していないので中国側の資料によってこれをおこなうことはできない。しかし中国と貿易した相手国の貿易統計から逆に中国関係をとらえた資料があるので間接的ではあるが、これによってわが商品の中国貿易に占めるシェアをみよう。

73年中国の総輸入（30.7億ドル、前年比99.4%増）のうち日本からの輸入（10.4億ドル、前年比70.9%増）は33.9%で首位（72年39.5%で第1位）、アメリカ（21.7%）、西独（10.1%）、カナダ（9.3%）の順であるが、過去7年間日本はトップを占めて来た。アメリカが米中国交回復と同時に一挙に第2位に進出したことが注目される。

鉄鋼は71年（2.6億ドル、前年比13%増）、70年とも70.1%を占め第2位の西独（16.2%、70年19.0%）を大きく引き離している。

化学工業生産品（1.6億ドル、前年比18.9%増）は64.2%（70年56.2%）とこれまた過半を占めここ6年間西独を抑えて首位である。

機械・輸送用機器（8.9千万ドル、前年比21.6%減）は36.2%（70年49.6%）で68年以降トップを占めフランス、西独が第2位で続いている。

なお中国の外国貿易は1962年までは「共産圏諸国」との関係が「非共産圏諸国」とのそれを上回ったが、63年からは後者との貿易が半ばを超え、次第に増大して70%台に達している（表3-34）。

表3-33 中国市場における日本商品の競合関係

(単位 1000ドル)

品目 番号	品 目	中 国 総 輸 入	対 日 輸 入	対日輸入 シェア (%)	主要進出国とそのシェア(%)
(単位 100万ドル)	総 額	1967年 1,945	288.2	14.8	西独 (10.5) オーストラリア (9.9) イギリス (5.4)
	68	1,820	224.2	12.3	西独 (10.1) フランス (4.8) イギリス (3.8)
	69	1,825	390.8	21.4	西独 (8.7) イギリス (6.8) カナダ (6.2)
	70	1,237	568.9	46.0	西独 (13.5) カナダ (11.2) イギリス (8.2)
	71	1,255	577.5	46.0	カナダ (16.1) 西独 (10.1) フランス (8.8)
	72	1,541	609.7	39.5	カナダ (16.9) 西独 (10.8) イギリス (5.1)
	73	3,073	1,041.3	33.9	アメリカ (21.7) 西独 (10.1) カナダ (9.3)
7 機械および 輸送用機器類 (以下単位 1000ドル)	67	199,423	38,785	19.4	西独 (22.4) フランス (17.5)
	68	104,543	29,278	28.0	西独 (26.1) フランス (15.0)
	69	98,260	44,376	45.2	西独 (12.8) フランス (12.2)
	70	230,264	114,261	49.6	フランス (19.6) 西独 (8.5)
	71	247,687	89,562	36.2	フランス (33.1) 西独 (10.5)
715-1 金属加工機械	67	35,195	2,624	7.4	西独 (39.9) スイス (23.1)
	68	28,209	3,613	12.8	西独 (44.4) スイス (20.6)
	69	22,883	4,579	20.0	イタリア (30.7) 西独 (18.8)
	70	45,905	16,619	36.2	スイス (18.0) イタリア (16.5)
	71	61,729	23,301	37.7	西独 (25.9) イタリア (14.7)
717-1 繊維機械	67	35,195	2,624	7.4	西独 (39.9) スイス (23.1)
	68	2,015	128	6.4	イギリス (38.6) フランス (19.0)
	69	1,664	302	18.1	イギリス (30.8) スウェーデン (21.6)
	70	553	5	0.9	イタリア (60.8) 西独 (9.4)
	71	481	2	0.4	イギリス (41.2) 西独 (37.2)
718-4 建設・鉱山 機械	67	2,019	332	16.4	イタリア (52.5) 西独 (10.7)
	68	990	124	12.5	フランス (55.1) イタリア (13.3)
	69	2,587	823	31.8	フランス (56.7) イタリア (8.6)
	70	13,017	7,835	60.2	フランス (32.2) イタリア (5.2)
	71	16,667	7,943	47.7	西独 (24.7) フランス (15.7)

表3—33 中国市場における日本商品の競合関係（続き）（単位1000ドル）

品目 番号	品 目	中 国 総輸入	対 日 輸 入	対日輸入 シェア (%)	主要進出国とそのシェア(%)
719-1	加熱用または 冷却用機械	1967年 7,769	5,093	65.5	イギリス(15.1)西独(6.8)
		68 3,834	833	21.7	西独(69.0)イギリス(5.2)
		69 1,602	501	31.3	西独(46.9)イタリア(15.9)
		70 2,069	736	35.6	フィンランド(34.2)西独(12.3)
		71 190	49	25.8	西独(40.0)イタリア(32.0)
719-2	ポンプおよび 遠心分離機	67 7,864	4,831	61.4	スウェーデン(7.8)西独(7.3)
		68 5,180	3,364	64.9	西独(24.8)イギリス(3.5)
		69 8,081	6,655	82.4	西独(10.6)フランス(2.4)
		70 16,317	14,095	86.4	西独(7.1)フランス(4.0)
		71 9,182	8,094	88.2	フランス(3.9)西独(2.1)
729-4	電気計測器	67 9,066	3,177	35.0	西独(25.4)イギリス(15.1)
		68 5,110	1,620	31.8	西独(19.8)イギリス(17.8)
		69 4,206	1,873	44.5	西独(17.5)イギリス(15.9)
		70 808	479	59.3	フランス(32.4)イタリア(4.0)
		71 240	100	41.7	フランス(46.3)イタリア(11.7)
73	車両・航空機 船	67 43,032	1,597	3.7	フランス(56.8)イギリス(17.9)
		68 19,857	3,653	18.4	フランス(45.2)西独(16.2)
		69 19,258	8,998	46.7	フランス(30.6)イギリス(7.8)
		70 91,837	38,916	42.4	フランス(34.7)ノルウェー(6.6)
		71 91,577	11,524	12.6	フランス(75.7)イギリス(5.7)
861-9	精密および 計測機器	67 —	3,458	—	
		68 11,172	2,173	19.5	スイス(29.6)西独(25.9)
		69 7,442	2,175	29.2	スイス(36.1)西独(17.9)
		70 7,247	2,911	40.2	スイス(27.9)西独(15.4)
		71 3,750	960	25.6	スイス(26.7)西独(22.4)
67 鉄	鋼	67 259,546	102,666	39.6	西独(34.0)イタリア(7.4)
		68 218,027	136,235	62.5	西独(22.7)イギリス(4.2)
		69 236,196	163,412	69.2	西独(19.7)イタリア(2.9)
		70 338,541	237,374	70.1	西独(19.0)Bel.-Lux.(2.9)
		71 382,716	268,356	70.1	西独(16.2)イタリア(3.6)
673	棒形鋼	67 45,988	10,572	23.0	西独(44.9)スウェーデン(7.8)
		68 54,439	27,267	50.1	西独(23.7)イギリス(10.4)
		69 54,911	36,935	67.3	西独(13.2)イタリア(6.1)
		70 71,619	57,264	80.0	西独(9.4)オーストリア(3.7)
		71 75,997	62,650	82.4	西独(5.0)オーストリア(3.6)

表3-33 中国市場における日本商品の競合関係(続き)

(単位1000ドル)

品目 番号	品 目	中 国 総輸入	対 日 輸 入	対日輸入 シェア (%)	主要進出国とそのシェア(%)
674-1	厚 板	1967年52,321	18,976	36.2	西独(21.8)イタリア(14.1)
		68 16,848	5,691	33.8	西独(38.8)スウェーデン(18.5)
		69 27,710	15,581	56.2	西独(30.1)イタリア(6.1)
		70 61,163	28,727	47.0	西独(26.8)スウェーデン(9.8)
		71 60,615	39,524	65.2	スウェーデン(12.6)西独(11.0)
674-3 674-8 (熱延・冷延)	薄 板	67 41,459	24,493	59.0	イタリア(12.6)西独(18.0)
		68 46,565	34,294	73.6	西独(11.8)フランス(4.3)
		69 63,698	46,866	73.6	西独(23.0)イタリア(1.5)
		70 85,645	67,724	79.1	西独(15.4)Bel.-Lux.(2.5)
		71 67,858	37,244	54.9	西独(20.1)イタリア(13.0)
674-7	ブ リ キ	67 12,197	6,760	55.4	フランス(28.8)西独(8.2)
		68 14,735	14,306	97.1	西独(2.8)イギリス(0.1)
		69 13,158	7,860	59.7	フランス(29.3)イギリス(3.9)
		70 11,103	7,593	68.4	フランス(12.9)イギリス(5.3)
		71 10,607	7,242	68.3	フランス(15.3)Bel.-Lux.(11.8)
678	鋼 管	67 78,574	42,584	54.1	西独(40.0)イタリア(2.1)
		68 62,524	45,611	72.9	西独(25.8)スウェーデン(0.8)
		69 56,207	45,304	80.6	西独(19.1)イタリア(0.1)
		70 81,168	59,719	73.6	西独(25.5)イタリア(0.7)
		71 113,655	79,315	70.0	西独(28.1)スウェーデン(1.3)
5 化学工業生産品		67 222,980	98,654	44.2	西独(16.7)イタリア(12.3)
		68 254,077	111,709	44.0	西独(14.2)イタリア(13.4)
		69 244,126	122,394	50.1	西独(15.8)イタリア(12.9)
		70 258,489	138,280	53.5	西独(15.6)イタリア(11.7)
		71 257,674	164,504	63.8	西独(14.8)イタリア(8.5)
561 130	硫 安	67 47,170	30,148	63.9	西独(18.7)Bel.-Lux.(9.2)
		68 40,503	23,159	57.2	オランダ(17.3)Bel.-Lux.(14.0)
		69 42,991	18,774	43.7	オランダ(39.5)Bel.-Lux.(9.2)
		70 43,712	19,902	45.5	イタリア(15.0)西独(12.9)
		71 29,638	19,622	66.2	イタリア(9.1)西独(6.1)
561 150 512 741	尿 素	67 36,821	24,750	67.2	イタリア(8.8)オランダ(8.2)
		68 66,332	39,332	59.3	オランダ(17.6)イタリア(16.1)
		69 120,814	61,998	51.3	オランダ(46.4)Bel.-Lux.(1.7)
		70 135,330	75,990	56.2	イタリア(11.8)オランダ(9.2)
		71 156,464	100,453	64.2	西独(15.3)イタリア(8.9)

表3-34 中国輸出入の推移

(単位100万ドル)

年次	対外貿易総額			対共産圏諸国			対非共産圏諸国			B/A (%)
	計(A)	輸出	輸入	計	輸出	輸入	計(B)	輸出	輸入	
1950	1,210	620	590	350	210	140	860	410	450	71.1
51	1,900	780	1,120	980	465	515	920	315	605	48.4
52	1,890	875	1,015	1,315	605	710	575	270	305	30.4
53	2,295	1,040	1,255	1,555	670	885	740	370	370	32.2
54	2,350	1,060	1,290	1,735	765	970	615	295	320	26.2
55	3,035	1,375	1,660	2,250	950	1,300	785	425	360	25.9
56	3,120	1,635	1,485	2,055	1,045	1,010	1,065	590	475	34.1
57	3,055	1,615	1,440	1,965	1,085	880	1,090	530	560	35.7
58	3,765	1,940	1,825	2,380	1,280	1,100	1,385	660	725	36.8
59	4,290	2,230	2,060	2,980	1,615	1,365	1,310	615	695	30.5
60	3,990	1,960	2,030	2,620	1,335	1,285	1,370	625	745	34.3
61	3,020	1,530	1,490	1,685	970	715	1,335	560	775	44.2
62	2,675	1,525	1,150	1,410	920	490	1,265	605	660	47.3
63	2,770	1,570	1,200	1,250	820	430	1,525	755	770	55.1
64	3,220	1,750	1,470	1,100	710	390	2,120	1,040	1,080	65.5
65	3,880	2,035	1,845	1,165	650	515	2,715	1,385	1,330	70.0
66	4,245	2,210	2,035	1,090	585	505	3,155	1,625	1,530	74.3
67	3,895	1,945	1,950	830	485	345	3,065	1,460	1,605	78.7
68	3,765	1,945	1,820	840	500	340	2,925	1,445	1,480	77.7
69	3,860	2,030	1,830	785	490	295	3,075	1,540	1,535	79.7
70	4,246	2,063	2,183	844	491	353	3,402	1,572	1,830	80.1
71	4,681	2,390	2,291	1,116	614	502	3,565	1,776	1,789	76.2
72	5,716	2,948	2,768	1,236	708	528	4,480	2,240	2,240	78.4
73	8,795	4,124	4,671	—	—	—	—	—	—	—

(資料) ジェトロ刊「72年海外市場白書」3巻487ページ、74年版402ページ
73年は外務省推計

表3-35 中国の主要相手国別貿易

(単位 100万ドル)

相手国	輸 入			輸 出			1973年 バランス
	1972年	1973年	伸び率	1972年	1973年	伸び率	
日 本	608.9	1,039.4	70.7	491.1	974.0	98.3	△65.4
(西 欧)	544.1	930.0	70.9	490.8	716.0	45.8	△214.0
西 独	166.9	310.7	86.2	107.3	150.3	40.1	△160.4
イ ギ リ ス	78.0	207.1	2.7倍	88.9	117.9	32.6	△89.2
フ ラ ン ス	59.7	90.9	50.8	104.8	147.5	40.7	57.6
イタリア(1~11月)	73.6	67.8	△7.9	76.6	114.0	48.8	46.2
ベルギー(1~10月)	9.8	24.4	2.5倍	19.9	33.8	69.8	9.4
ス イ ス	19.4	41.6	2.1倍	19.7	28.8	46.2	△12.8
デ ン マ ー ク	8.8	3.8	△56.8	10.9	19.4	78.0	15.6
ユーゴスラビア	14.1	44.2	3.1倍	2.9	14.2	4.9倍	△30.0
スウェーデン	42.2	50.6	19.9	20.9	28.5	36.4	△22.1
ノ ル ウ ェ ー	21.3	24.2	13.6	5.2	6.8	30.8	△17.4
フィンランド	17.0	10.2	△40.0	9.4	17.9	90.4	7.7
ト ル コ	18.8	31.0	64.9	0.7	4.1	5.9倍	△26.9
オーストリア	13.9	18.0	29.5	8.4	12.3	46.4	△5.7
ス ペ イ ン	0.6	6.4	10.7倍	15.2	20.5	34.9	14.1
(北 米 オセアニア)	356.3	1,069.4	3.0倍	120.6	175.0	45.1	894.4
ア メ リ カ	60.2	689.1	11.4倍	32.3	63.7	97.5	△625.4
カ ナ ダ	261.8	287.8	9.9	49.0	52.9	8.0	△234.9
オーストラリア (1~9月)	34.3	92.5	2.7倍	39.3	58.4	48.6	△34.1
(ア ジ ア)	31.4	65.5	2.1倍	724.6	1,159.2	59.9	1,041.1
香 港	18.5	52.9	2.9倍	689.6	1,094.6	58.6	1,093.7
マカオ(1~9月)	-	-	-	19.4	27.8	43.3	-
パキスタン(1~10月)	12.9	12.6	△0.2	15.6	37.4	2.4倍	24.8
以 上 合 計	1,540.7	3,104.3	2.1倍	1,827.1	3,024.2	65.5	△80.1

付表 1 九州・山口の中国向け輸出

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973 年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
九州山口の中国向け輸出計			43,797,454		23,675,713	100.0	100.0
九 州 計			28,301,964		11,833,128	64.6	50.0
門 司			4,580,436		2,944,957	10.5	12.4
戸 畑			18,075,998		7,476,313	41.3	31.6
博 多			—		—	—	—
福 岡 空 港			1,232		217	0.0	0.0
大 分			1,504,323		1,049,553	3.4	4.4
佐 賀 関			3,409,741		—	7.8	—
細 島			88,365		59,736	0.2	0.2
長 崎			209,615		6,403	0.5	0.0
佐 世 保			231,219		—	0.5	—
三 池			201,035		295,949	0.5	1.2
山 口 県 計			15,495,490		11,842,585	35.4	50.0
下 関			977,137		976,772	2.2	4.1
宇 部			5,226,667		4,421,391	11.9	18.7
徳 山			4,732,859		3,408,939	11.0	14.4
下 松			4,251,693		2,142,287	9.7	9.0
岩 国			307,134		893,196	0.7	3.8
2.食用に適しない原材料			340,877		313,304	0.8	1.3
(23)生 ゴ ム	MT	4,313	340,877	4,741	313,304		
門 司		303	26,692	600	38,422		
徳 山		4,010	314,185	4,141	274,882		
5.化学工業生産品			16,587,407		15,659,479	37.9	66.1
(51)元素および化合物			2,515,808		3,840,274	5.7	16.2
門 司	MT	2,106	213,122		523,074		
戸 畑		41,443	1,399,567		1,746,526		
下 関		769	112,562		33,745		
宇 部		3,062	410,264		426,178		
徳 山		113	7,338		120,256		
岩 国			113,578		427,663		
大 分			73,228		279,497		
三 池			186,149		283,335		
(512)有機化合物	MT		2,325,717		3,373,746	5.3	14.2
門 司		1,943	197,787	3,897	420,664		
戸 畑		40,943	1,374,079	50,644	1,711,051		
下 関		769	112,562	278	33,745		

(輸 出)

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73 年	72 年
字 部		2,662	384,749	2,840	347,448		
徳 山		30	1,585	1,431	76,005		
岩 国			113,578	12,374	427,663		
大 分			73,228		279,497		
三 池			68,149	980	77,673		
(513.514)無機化合物	MT		190,091		466,528		
門 司		163	15,335	1,943	102,410		
戸 畑		500	25,488	698	35,475		
字 部		400	25,515	1,480	78,730		
徳 山		83	5,753	3,000	44,251		
三 池			118,000	1,700	205,662		
(53)染料・なめし剤・顔料・塗料・充てん剤	KG	104,550	158,995	52,467	60,453		
門 司		92,410	142,423	36,107	40,699		
戸 畑		1,110	1,686	6,840	10,782		
三 池		11,030	14,886	9,520	8,972		
(56)化学肥料	MT	1,030,740	12,113,625	1,126,960	10,355,646	27.7	43.7
門 司		-	-	11,100	80,039		
戸 畑		332,440	4,208,566	362,160	3,669,667		
字 部		360,700	4,801,551	368,300	3,878,901		
徳 山		334,600	3,015,143	382,400	2,667,303		
細 島		3,000	88,365	3,000	59,736		
(58)人造プラスチック	KG		748,668		1,005,177		
門 司		1,292,521	98,520	2,675	149,113		
戸 畑		150,000	20,987	593	56,771		
下 関		5,165,000	372,578	2,822	153,638		
字 部		71,500	14,852	595	116,312		
徳 山		100,000	9,769	865	60,168		
岩 国			193,556	7,772	465,533		
三 池			-	20	3,642		
大 分			38,406	-	-		
(59)その他の化学工業生産品			1,050,311		397,929		
門 司		15,500	3,287	50	9,974		
戸 畑			210,218	-	-		
下 関			43,715	300	134,336		
徳 山			-	29	4,890		
大 分			793,091	450	248,729		

(輸 出)

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
6.原料別製品		25,192,789		7,487,864		57.5	31.6
(62)ゴム製品	Kg	4,566		2,027			
門 司		15,452	4,458	2,027			
徳 山		311	108	—			
(64)紙・板紙・同製品	Kg	—		2,472			
門 司		—	—	63	2,472		
(67)鉄 鋼	MT	370,220	21,089,182	154,972	6,788,850	48.2	28.7
門 司		78,788	3,558,789	45,734	1,673,525		
戸 畑		211,341	12,077,901	45,983	1,965,711		
下 関		54	34,844	430	198,157		
徳 山		24,361	1,386,316	1,772	281,440		
下 松		40,932	3,431,734	28,690	2,142,287		
大 分		14,744	599,598	32,349	521,327		
長 崎		—	—	14	6,603		
鉄鉄・スปีーゲル (671) 海綿鉄鋼・鉄鋼の 粉およびショット 並びにフェアラロイ	MT	16,857	298,815	50,073	783,757		
戸 畑		16,857	298,815	17,724	262,430		
大 分		—	—	32,349	521,327		
鉄鋼のインゴット (672) その他の一次製品 (管用のブランクを含む)		14,744	599,598	98	3,999		
門 司		—	—	98	3,999		
大 分		14,744	599,598	—	—		
(673) 鉄鋼の棒・形鋼		91,524	3,944,156	44,853	1,614,166		
門 司		75,044	3,345,181	44,853	1,614,166		
徳 山		16,480	598,975	—	—		
(674) 鉄鋼の板およびユ ニバーサルプレート	MT	236,468	15,387,931	2,015,341			
門 司		2,086	117,903	783	55,360		
戸 畑		194,484	11,779,086	1,703,281			
徳 山		964	188,767	1,566	214,005		
下 松		38,934	3,302,175	28,690	42,287		
長 崎		—	—	4	408		
(675) 鉄鋼の帯	MT	1,998	129,559	17,435			
下 松		1,998	129,559	—	—		
徳 山		—	—	206	17,435		

(輸 出)

- 77 -
(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
(678) 鉄鋼の管および 管 用 継 手	MT		729,123		198,157		
門 司		1,658	95,705	—	—		
下 関		54	34,844	430	198,157		
徳 山		6,917	598,574	—	—		
(679) 鉄鋼の鋳物およ び 鍛 造 物	MT	—	—	10	5,995		
長 崎		—	—	10	5,995		
(68) 非鉄金属		6,513	3,878,402	1,259	457,216	8.8	1.9
門 司		1,024	444,385	903	348,393		
下 関		89	24,276	356	108,823		
佐 賀 関		5,400	3,409,741	—	—		
(682) 銅	MT	6,424	3,854,126	901	347,885		
門 司		1,024	444,385	901	347,885		
佐 賀 関		5,400	3,409,741	—	—		
(684) アルミニウム	MT	89	24,276	358	109,331		
下 関		89	24,276	356	108,823		
門 司		—	—	2	508		
(69) その他の金属製品	Kg	36,099	220,639	2,318	237,299		
門 司		20,122	83,888	420	34,196		
戸 畑		14,900	9,485	122	26,084		
下 関		1,075	127,266	1,776	177,019		
より線・綱・網 (693) およびエキスパ ンデッドメタル	MT	1,877	205,342	2,265	217,012		
門 司		802	78,076	420	34,196		
戸 畑		—	—	69	5,797		
下 関		1,075	127,266	1,776	177,019		
(698) 非金属製の雑製品	Kg	34,222	15,297	53	20,287		
門 司		19,322	5,812	—	—		
戸 畑		14,900	9,485	53	20,287		
7. 機械類・輸送用機器類			1,675,149		214,077	3.8	0.9
門 司			4,872		43,023		
戸 畑			147,588		—		
下 関			261,896		171,054		
下 松			819,959		—		
長 崎			209,615		—		
佐 世 保			231,219		—		

		(輸 出)		(単位 1000円)			
品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
(71) 機 械 類 (電気機器を除く)			1,039,822		11,549	2.4	0.0
門 司			4,872		11,549		
戸 畑			5,376		—		
下 松			819,959		—		
長 崎			209,615		—		
(715) 金属加工機械	NO		3,182		5,755		
門 司		1	3,182		5,755		
(718) 製紙・印刷・製本 食料品製造・建設 鉱山機械	NO		5,376		—		
戸 畑			19 (食料品加工) 5,376		—		
(719) その他の機械類	KG		1,031,264		5,794		
門 司		490	1,690 (コック弁など)		5,794		
下 松		1,110,207	819,959		—		
長 崎		171,900	209,615		—		
(73) 車両、航空機、船舶			635,327	527	202,528		
門 司			—	155	31,474		
戸 畑			142,212	—	—		
下 関			261,896		171,054		
佐 世 保			231,219		—		
(735) 船 舶	GT	22,324	635,327	527	202,528		
門 司		—	—	155	31,474		
戸 畑		1,089	142,212	—	—		
下 関		417	261,896	370	171,054		
佐 世 保		20,818	231,219	—	—		
8. 雑 製 品			1,232		989		
福 岡 空 港			—		—		
戸 畑			1,232		772		
(864) 時 計	KG	40	1,232		217		
福 岡 空 港		40	1,232		217		
(899) その他の雑製品	KG				772		
戸 畑		—	—		772		

付表 2 九州・山口の中国からの輸入

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73 年	72 年
総 数			7,817,738		6,135,645	100.0	100.0
九 州 計			5,433,043		4,578,464	69.5	74.6
門 司			1,756,831		1,286,682	22.5	21.0
戸 畑			1,147,252		800,538	14.7	13.0
博 多			1,899,988		1,566,897	24.3	25.5
福 岡 空 港			37,029		8,410	0.5	0.1
大 分			23,170		22,280	0.3	0.4
細 島			117,697		121,506	1.5	2.0
長 崎			182,922		28,132	2.3	0.5
佐 世 保			18,057		124,172	0.2	2.0
三 池			67,716		84,631	0.9	1.4
八 代			33,614		15,140	0.4	0.2
鹿 児 島			148,967		520,076	1.9	8.5
山 口 計			2,384,695		1,557,181	30.5	25.4
下 関			78,789		3,657	1.0	0.1
宇 部			523,656		506,784	6.7	8.3
徳 山			1,777,148		1,030,979	22.7	16.8
下 松			—		—	—	—
防 府			—		8,661	—	0.1
岩 国			5,102		7,100	0.1	0.1
0. 食料品および動物			1,599,240		1,208,054	20.4	19.7
(01)肉およびその調製品	Kg						
門 司		23,172	4,577	18,194	2,999		
(02)酪農品および鶏卵	Kg						
門 司		3,864	1,236	—	—		
(03)魚およびその調製品	Kg						
門 司		16,939	4,650	22,050	4,020	2.9	0.1
博 多		448,997	73,506	—	—		
福 岡 空 港		191	4,423	—	—		
長 崎		445,532	145,722	—	—		
(04)穀類およびその調製品	Kg						
門 司		85,993	68,228	114,227	223,617	1.6	7.3
博 多		16,169	2,888	6,957	125,974		
防 府		—	—	260	4,842		
細 島		857	31,688	501	9,310		
長 崎		—	—	192	3,585		

		(輸 入)		(単位 1000円)			
品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
佐 世 保		—	—	3,472	64,568		
鹿 児 島		2,469	18,487	2,091	18,894		
(05)果実および野菜			889,850		532,198	11.4	8.7
門 司		1,472	364,453		249,302		
博 多		1,520	515,556		281,330		
下 関		19	3,340		1,187		
長 崎		20,572	1,503	—	—		
鹿 児 島		18,376	4,998	3	379		
(06)糖類・その調製品			59,544				
は ち み つ							
門 司		201	50,455	197	34,076		
博 多		42,098	9,089	—	—		
(07)コーヒー・茶・コ			28,925				
コア・香辛料など							
門 司		50	27,539	48	18,863		
博 多		750	1,386	—	—		
(08)飼料(粉碎して			258,455		154,077	3.3	2.5
ない穀物を除く)							
門 司		5,214	175,202	3,803	103,033		
博 多		2,758	71,226	683	16,764		
下 関		287	7,670	—	—		
佐 世 保		—	—	1,704	34,280		
鹿 児 島		137	4,357	—	—		
(09)その他の調製食料品		41	7,061	96	11,039		
門 司		41	7,061	96	11,039		
1. 飲料およびたばこ		—	—		1,452		
(112) アルコール飲料	ℓ	—	—				
長 崎		—	—	569	1,452		
2. 食用に適しない原材料			3,836,915		3,898,111	49.1	63.5
門 司			465,700		311,812	6.0	5.1
戸 畑			1,054,110		735,377	13.5	12.0
下 関			—		1,808	—	0.0
博 多		67,390	923,056		870,296	11.8	14.2
宇 部		121,776	340,686	108,773	311,248	4.3	5.1
徳 山		298,486	829,913	356,591	1,030,979	10.6	16.8
岩 国		—	—	—	75	—	0.0
大 分		342	16,785	471	20,831	0.2	0.3
細 島		821,220	81,794		112,196	1.0	1.8

(輸 入)

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
長 崎		23,040	1,141	—	—	0.0	—
三 池		13,281	35,211	17,243	49,056	0.5	0.8
鹿 児 島		1,644	88,519	9,954	454,433	1.1	1.9
(22)採油用の種 ナット・核	MT		1,178,411		1,453,570	15.1	23.7
門 司		5	2,286	1,853	83,082		
戸畑(ひまの種)		978	149,700	386	24,928		
博 多(大豆)		15,340	921,121	19,029	870,296		
大 分(")		342	16,785	471	20,831		
鹿児島(")		1,644	88,519	9,143	423,585		
" (菜種)		—	—	811	30,848		
(24)木材およびコルク	CM	848	103,150	29	349		
門司(きりの丸太)		848	103,150	—	—		
下 関(製材)		—	—	29	349		
織物用繊維(糸 (26)および織物を除 く)とそのくず	MT	803	32,742	—	—		
細島(コットン リントー)		803	32,742	—	—		
肥料(精製してない (27)もの)および粗の鉱 物(石炭・石油・貴 石を除く)	MT		2,359,108		2,347,186	30.1	38.3
門司(石および砂)		3	673	2,000	24,558		
" (塩)		8,854	24,089	7,170	20,838		
" (ホタル石)		8,437	117,158	6,520	91,778	(石英を含む)	
" (タルク)		7,262	57,916	1,979	15,855		
戸畑(塩)		257,386	717,744	231,877	669,102		
" (ホタル石)		13,080	186,666	2,978	41,347		
下関(大理石)		—	—	77	1,459		
宇部(塩)		121,776	340,686	108,773	311,248		
徳山(")		298,486	829,913	356,591	1,030,979		
岩国(陶磁製品 の破片)		—	—		75		
細島(塩)		17,628	49,052	31,482	90,891		
三池(")		13,281	35,211	17,243	49,056		
(28)金属鉱・金属くず	MT						
細島(マンガン鉱)		—	—	455	4,948		

(輸 入)

(単位 1000 円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
(29) その他の動物性・ 植物性原料			163,504		75,701		
門 司			160,428		75,701		
博 多			1,935		—		
長 崎			1,141				
(291) その他の 動物性原料							
門司(骨粉・羽毛)			61,264		23,258		
(292) その他の 植物性原料			102,240		52,443		
門司(竹・蓼草など)			99,164		52,443		
博多(イーグルスなど)			1,935		—		
長崎(竹)			1,141		—		
3. 鉱物性燃料・潤滑油、 その他これに類するもの			1,361,901		345,980	17.4	5.6
戸 畑			93,142		65,161		
博 多			68,508		50,969		
宇 部			182,970		162,280	2.3	
徳 山			947,235		—	12.1	—
三 池			25,817		27,106		
佐 世 保			10,615		25,324		
八 代			33,614		15,140		
(32) 石炭・コークス れ ん 炭	MT	47,811	287,910	42,988	265,679		
博多(無煙炭)		11,342	68,508	8,721	50,969		
宇部(")		30,870	182,970	26,486	162,280		
佐世保(")		1,500	10,615	3,781	25,324		
三池(")		4,099	25,817	4,000	27,106		
(33) 石油およびその製品			1,073,991		80,301		
戸畑(半成石油) コークス	MT	9,264	93,142	7,088	65,161		
徳山(原 油)	ℓ	124,688	932,897	—	—		
八代(半成石油) コークス		3,015	33,614	1,544	15,140		
4. 動物性・植物性油脂			363		—	0.0	—
(42) 植物性油脂	Kg						
門司(漆・ろう はぜろう)		1,000	363	—	—		

(輸 入)

(単位 1000 円)

品 目 番 号 港 別	数 量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
5. 化学工業生産品			51,493		116,684	0.7	1.9
門 司			18,269		36,089		
字 部			—		33,256		
細 島			4,215		—		
佐 世 保			135		—		
三 池			6,688		4,411		
鹿 児 島			22,186		42,928		
(51)元素および化合物			17,106		65,246		
門 司			12,891		31,990		
(有機化合物)		3,600	3,547	697,000 (無機化合物)	26,242		
(炭酸カリウム バリウム)		50,000	1,391				
(過マンガン酸 カリウム)		40,000	7,953	30,000	5,748		
字部(その他の 無機化合物)			—	900,188	33,256		
細島(炭酸ナトリウム バリウム)		100,000	4,215		—		
(53)顔料・ペイント・ワニス							
門司(ポスターカラー えのぐ)	MT	2	456	3	834		
(54)医薬品			1,074				
門 司		3	939				
佐 世 保		35	135				
(55)精油・香料など							
門 司(線香)		4,600	3,983	1,120	930		
(57)火薬類	Kg		6,688		6,746		
門 司		—	—	9,000	2,335		
三 池		30,350	6,688	25,800	4,411		
(59)その他の化学工業品	Kg						
鹿児島(でん粉)		665,000	22,186	1,442,000	42,928		
6. 原料別製品			512,895		335,371	6.6	5.5
門 司			249,677		124,448		
博 多			209,365		190,266		
福 岡 空 港			7,249		1,812		
下 関			17,683		—		
岩 国			1,811		6,734		

(輸 入)

(単位 1000 円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
長 崎			11,538		6,266		
佐 世 保			6,096		—		
三 池			—		3,981		
鹿 児 島			9,476		1,864		
(62)ゴム製品	Kg						
門 司		640	305	—	—		
(63)木製品および コルク製品			25,069		20,871		
門 司			15,792		6,337		
博多 (木製品)	Kg	10	611	6,655	11,728		
福岡空港 (")	Kg	1,465	1,274	—	—		
下関 (")		3,459	1,410	—	—		
" (コルク製品)		2,214	2,092	—	—		
岩国 (木製品)		98	323	21	116		
長崎 (")		1,212	3,567	343	2,690		
(64)紙・板紙・その製品			8,688		7,431		
門 司			6,458	21	7,431		
下 関			1,756	—	—		
鹿 児 島		119	474	—	—		
(65)織物用の繊維の糸 織物・繊維製品			160,634		44,242		
門司 (綿織物)			25,056	—	—		
" (特殊織物)			5,424	156,000 (NO)	5,345 (帽体)		
" (その他の 繊維製品)			48,988		12,227		
" (敷物類)			45,549		16,483		
博多 (")			4,739	1,678	2,278		
福岡空港(織物)			5,380	195	769 (じゅうたん)		
下関(織物・敷物)		13,827	9,247	—	—		
岩国 (敷物類)		—	—	347	1,087		
長崎(織物・敷物)			1,616	90	208		
三池 (組細工 物など)			—	10,241	3,981		
佐世保 (リネン 敷 物)			6,096		—		
鹿児島 (")			8,539	2,065	1,864		

(輸 入)

(単位 1000 円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
7. 機械類・輸送用機器			2,051		671	0.0	0.0
門 司							
(72)電気機器			2,051		671		
門司(電気カミソリ)		—	—	500	333		
(73)車両・船舶・航空機							
門司(自転車)	NO	250	2,051	50	338		
8. 雑 製 品			444,709		218,905	5.7	3.6
門 司			312,769		166,713		
博 多			25,208		31,298		
福 岡 空 港			21,787		—		
下 関			50,096		662		
岩 国			3,291		291		
長 崎			23,018		16,829		
佐 世 保			1,211		—		
大 分			6,385		1,449		
鹿 児 島			944		1,663		
(81)室内衛生用品・暖房器具・照明器具							
門司(照明器具)	Kg	667	329	252	92		
(82)家 具	Kg						
門 司			33,603		10,220		
博 多		1,535	2,057		26,087		
福 岡 空 港		122	515	—	—		
下 関		2,040	5,907	—	—		
岩 国		—	—	10	219		
長 崎		8,243	13,457	8,820	13,955		
(83)旅行用具・ハンドバッグなど							
門 司	DZ	1,646	3,720	499	805		
長崎(トランク・さいふなど)	Kg	—	—	24	73		
(84)衣 類			49,233		21,740		
門 司			43,087		19,492		
博 多	Kg	5	142		—		
福 岡 空 港	DZ	29	148		—		
下 関		—	—		662		
長崎(ショール・マフラー・毛皮製品)			4,072		—		

(輸 入)

(単位 1000円)

品 目 番 号 港 別	数量 単位	1973年		1972年		構 成 比	
		数 量	価 額	数 量	価 額	73年	72年
佐世保(下着)	DZ	1,000	1,046		—		
鹿児島(ドレスなど)	DZ	833	738		1,586		
(86)光学・医療用 精密機器							
門司(計算用具) 時計			447	10	164		
下 関(時計)	NO	1,900	954				
(89)その他の雑製品			334,487		145,576		
門 司		316	231,583	176	135,940		
博 多		25,548	23,009	740	5,211		
福 岡 空 港		213	21,124	—	—		
下 関		56,576	43,235	—	—		
岩 国		6	3,291	2	98		
大分(かこ細工) 物など	Kg	16,213	6,385	4,150	1,449		
長崎(美術骨と) うなど		1,519	5,489	859	2,801		
佐世保(扇子など)	Kg	145	165	—	—		
鹿児島(筆)	DZ	161	206	10	77		
9. 特殊取扱品			8,171		10,417		
(93)再輸入品			4,601		3,970		
門 司		1,160	4,601	—	—		
福 岡 空 港		—	—	1	151		
防 府		—	—	123	3,819		
(94)動物(その他のもの)							
福 岡 空 港		165	3,061	724	6,447		
(96)貨幣(金貨および 通貨を除く)							
福 岡 空 港		15	509	—	—		